

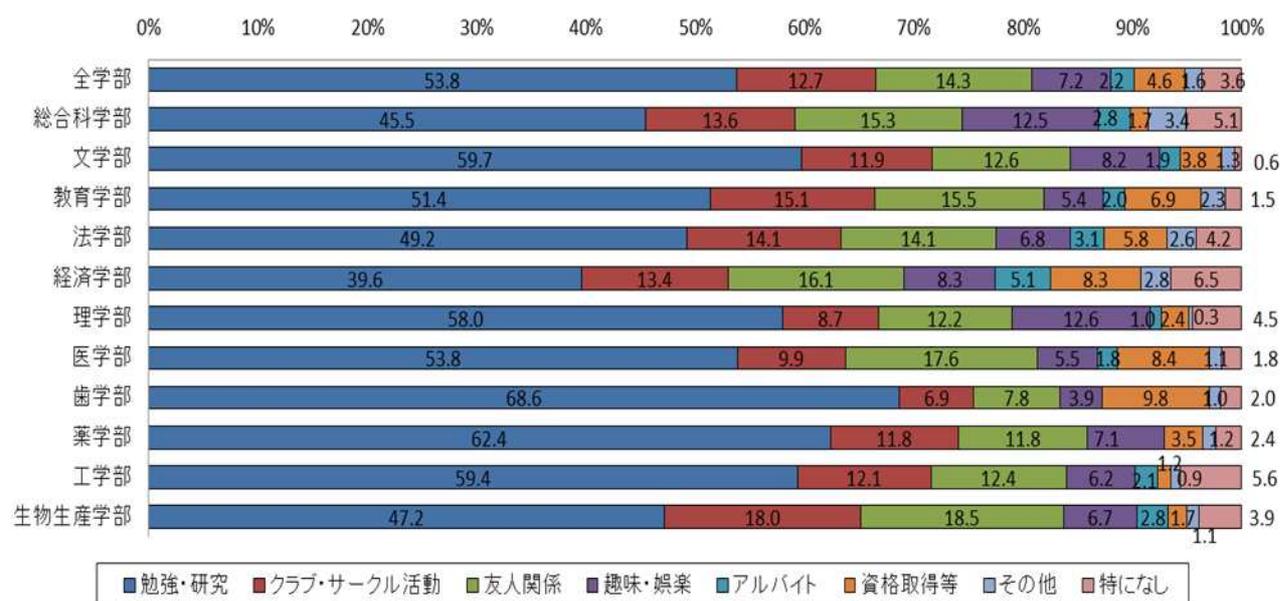
II 設問と回答分布

学部

1 大学生活において大切にしているもの

設問1 大学生活において何を大切にしていますか。

全体として勉強・研究を大学生活において最も優先している学生が多い。これに続いて、友人関係やクラブ・サークル活動を最優先とする学生も少なくない。約8割の学生が学内外のクラブ・サークル活動に参加している(問2)ことをふまえると、そのような活動をしつつも勉学を最優先とする傾向が認められる。

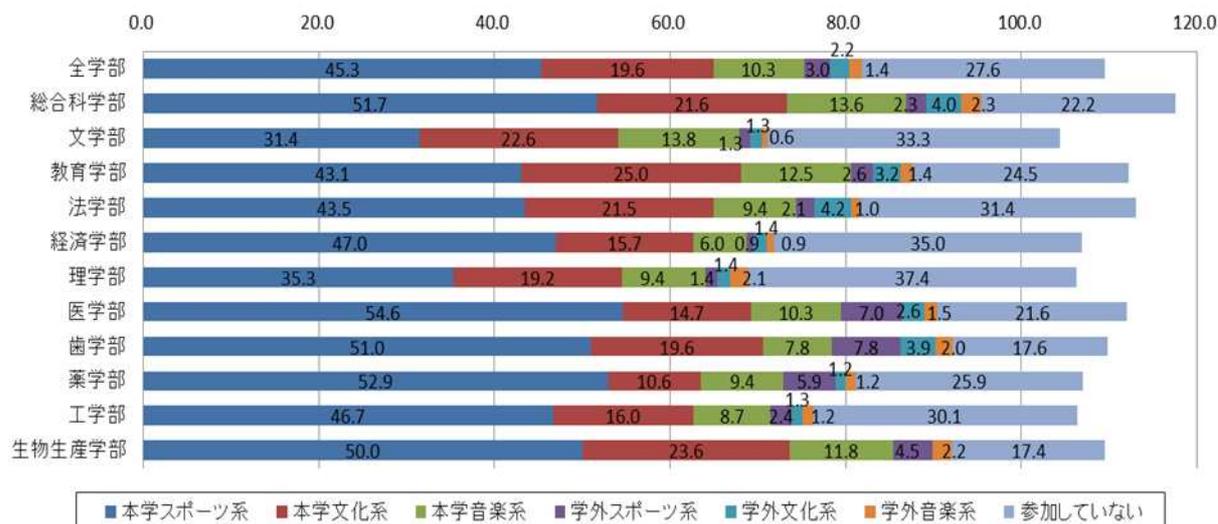


2 学内外のクラブ・サークル活動への参加

設問2 学内外のクラブやサークル活動に参加していますか。(複数回答可)

7割を超える学生が何らかのクラブ・サークル活動に参加しており、その大部分が学内のクラブ・サークルに参加している。

学部別に見ると、文学部、理学部の参加率がやや低い。こういった傾向は、ここ数年あまり変化がない。複数のクラブ・サークルを掛け持ちしている学生は多くないようである。

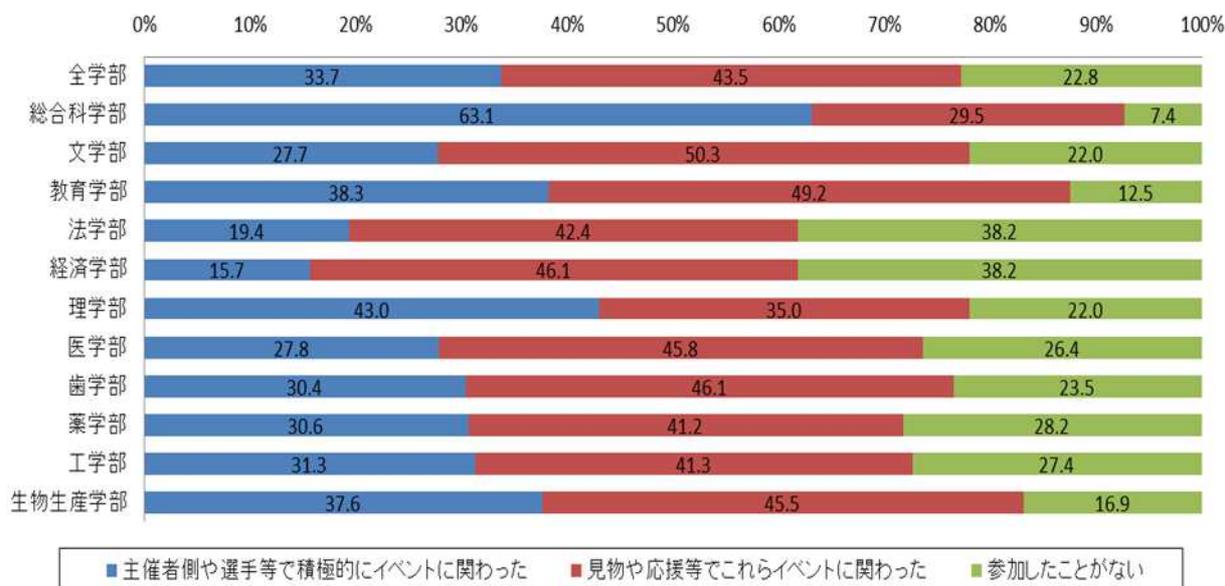


3 大学の行事への参加

設問3 大学祭、ゆかたまつり、フェニックス駅伝等の大学の行事に参加したことがありますか。

8割近い学生が何らかの形で大学行事に関わっており、大学行事への関心の高さを示している。

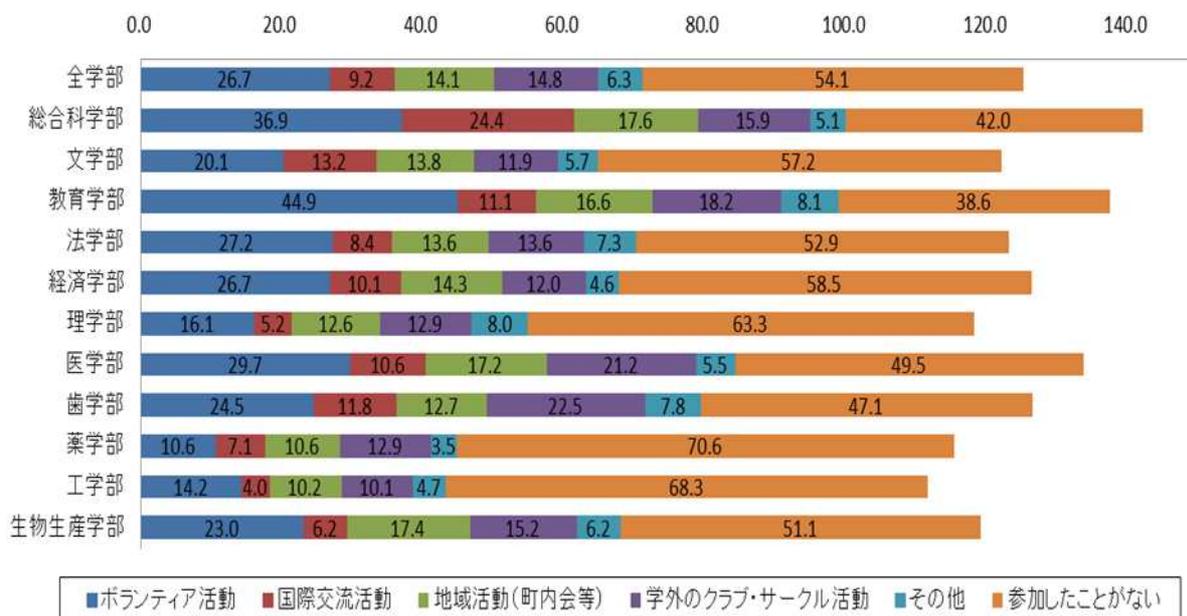
また、総合科学部、教育学部、及び生物生産学部で行事への参加率が高く、この傾向は前回（H22年）の調査ともほぼ一致している。総合科学部の学生は、行事参加への積極性においても他学部と比較してかなり高い様子が見える。



4 ボランティアや地域活動への参加

設問4 ボランティア活動や地域の活動に参加したことがありますか。(複数回答可)

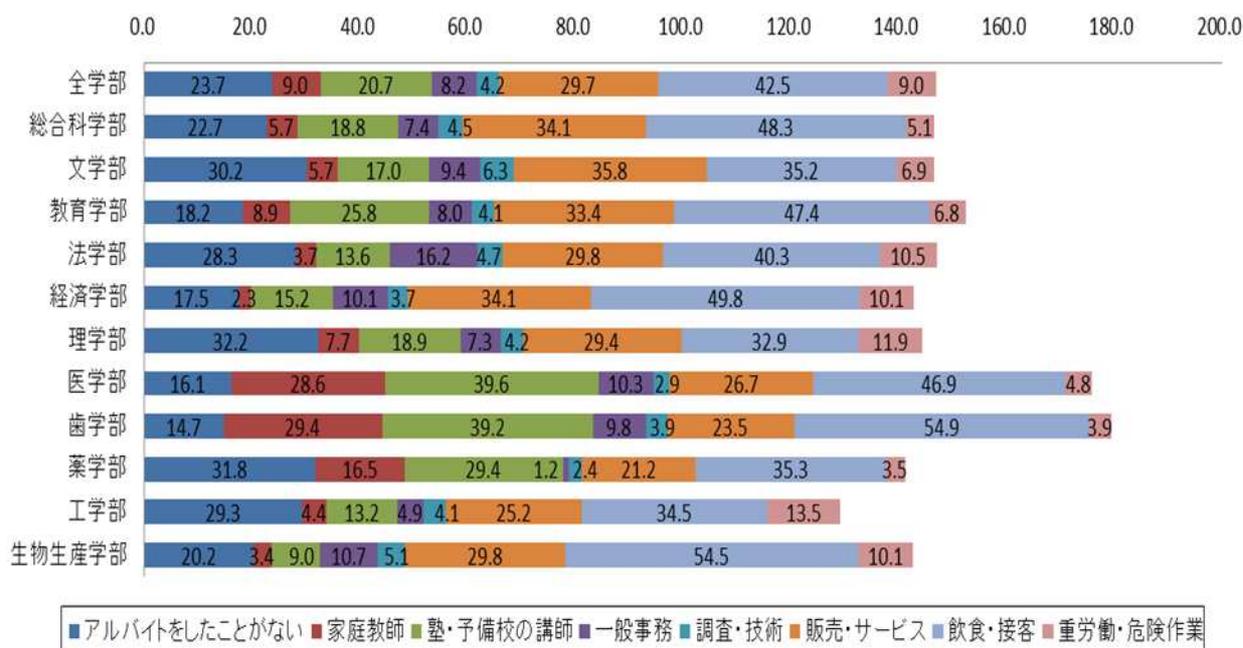
ボランティア活動や地域活動などへは約半数の学生が参加経験をもち、その内訳も含めて前回（H22年）や前々回（H20年）の調査と比較して大きな変動はない。これは、昨今の社会の動きを鑑みると、やや意外な結果とも思えるが、設問1の結果が従来と変わらないところを見ると、学生の本分である勉強・研究を最優先とする姿勢を反映しているのかもしれない。



5 アルバイト

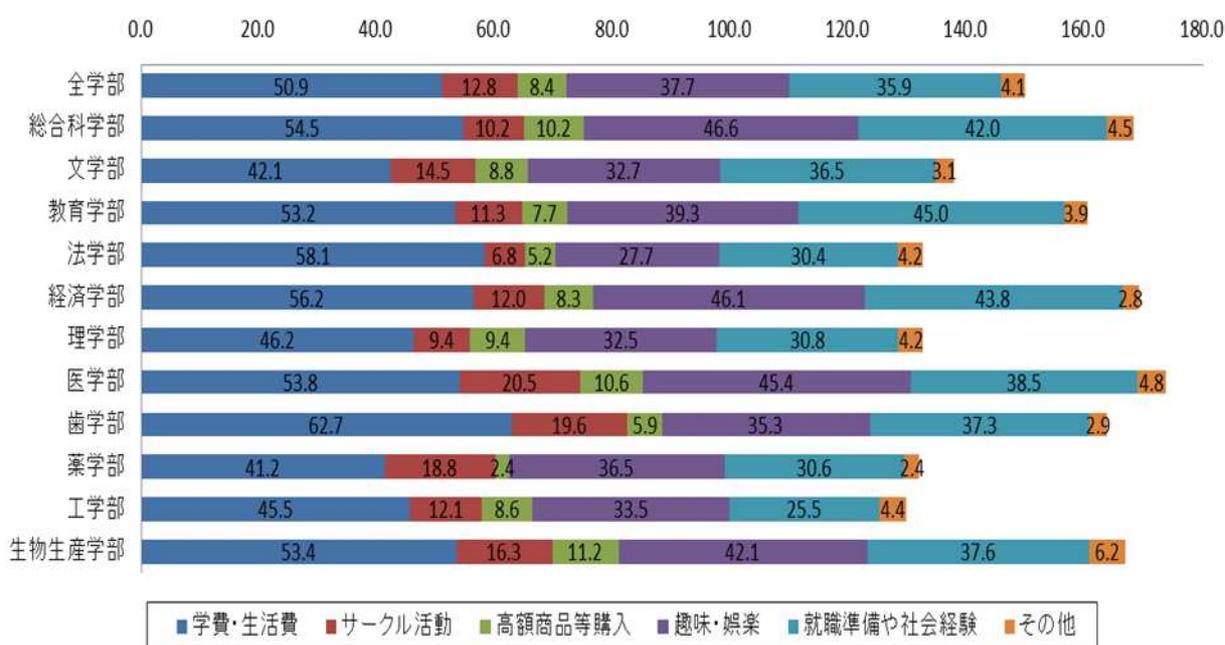
設問5 入学後何らかのアルバイトに就業したことがありますか。(複数回答可)

アルバイト経験者は、全体で約76%。職種としては、飲食・接客(42.5%)、販売・サービス(29.7%)、塾・予備校の講師(20.7%)が上位3職種である。その一方で、文学部、理学部、薬学部、工学部では、約3割を超える学生がアルバイト経験なしと回答している。



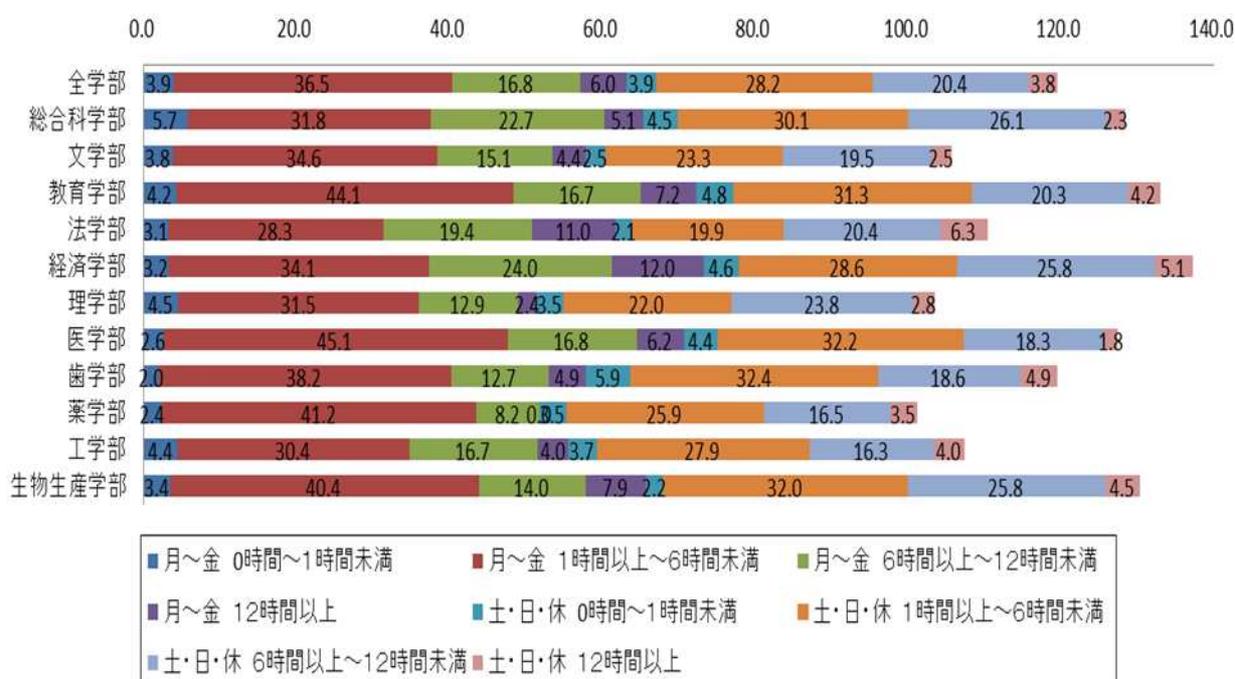
設問6 アルバイトの主な目的は何ですか。(複数回答可)

アルバイトの目的は、学費・生活費(50.9%)、趣味・娯楽(37.7%)、就職準備や社会経験(35.9%)が上位3つの理由である。学費・生活費のためとする理由は前回調査に比べ20%減少している。



設問7 アルバイトに充てている時間を「月曜から金曜」、「土曜 及び 日曜・休日」それぞれの中から一ずつ選択してください。

アルバイトに充てている時間は、「月曜から金曜の1時間以上6時間未満」(36.5%)、「土日休の1時間以上6時間未満」(28.2%)、「土日休の6時間以上12時間未満」(20.4%)の順に多い。

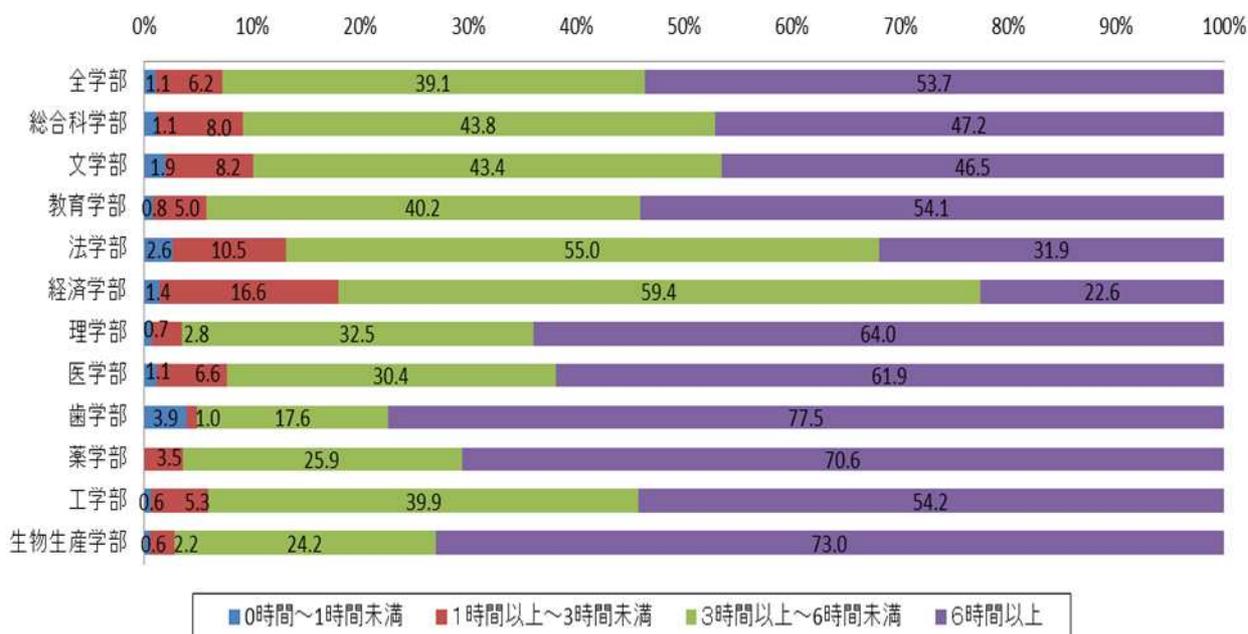


6 大学構内での滞在時間・場所について

設問8 大学構内にどれくらいの時間滞在していますか。

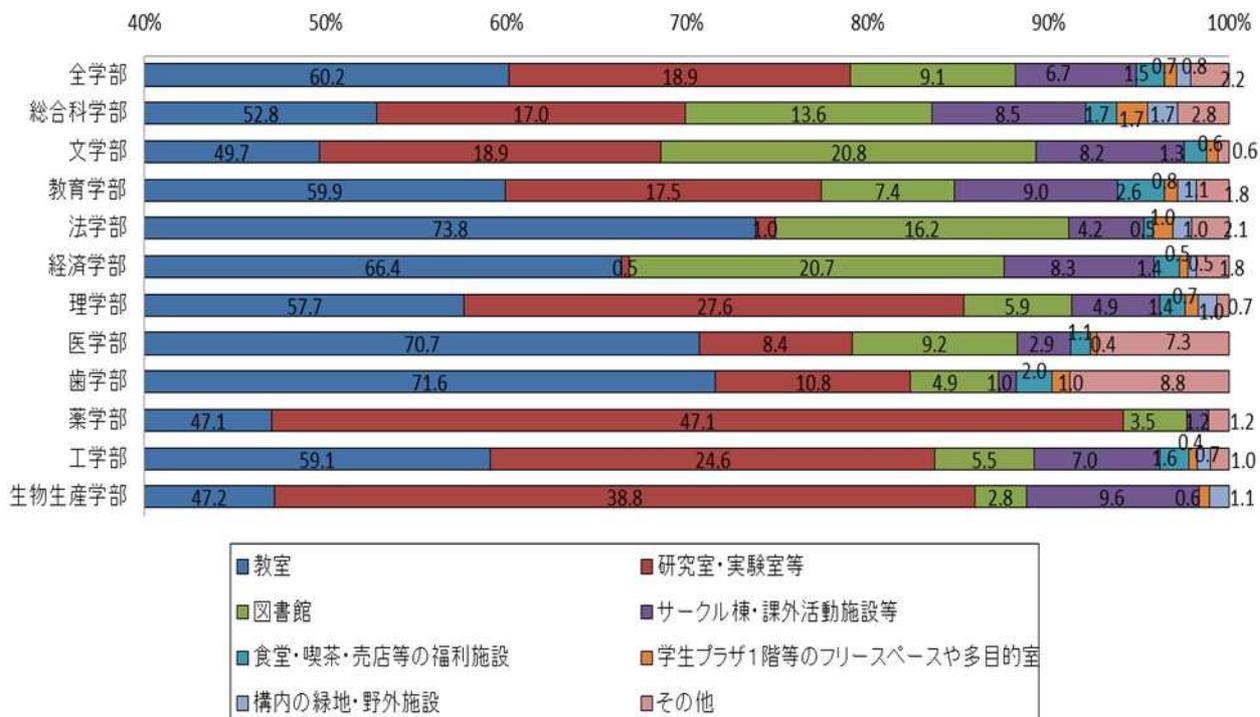
全体では、53.7%の学生が6時間以上構内に滞在している。

学部別にみると、多い順に歯学部、生物生産学部、薬学部、工学部となり、少ないのは、経済学部、法学部、文学部、総合科学部となっている。理系学部の学生の方が文系学部に比べ長時間滞在しているという傾向は前回調査と同じである。



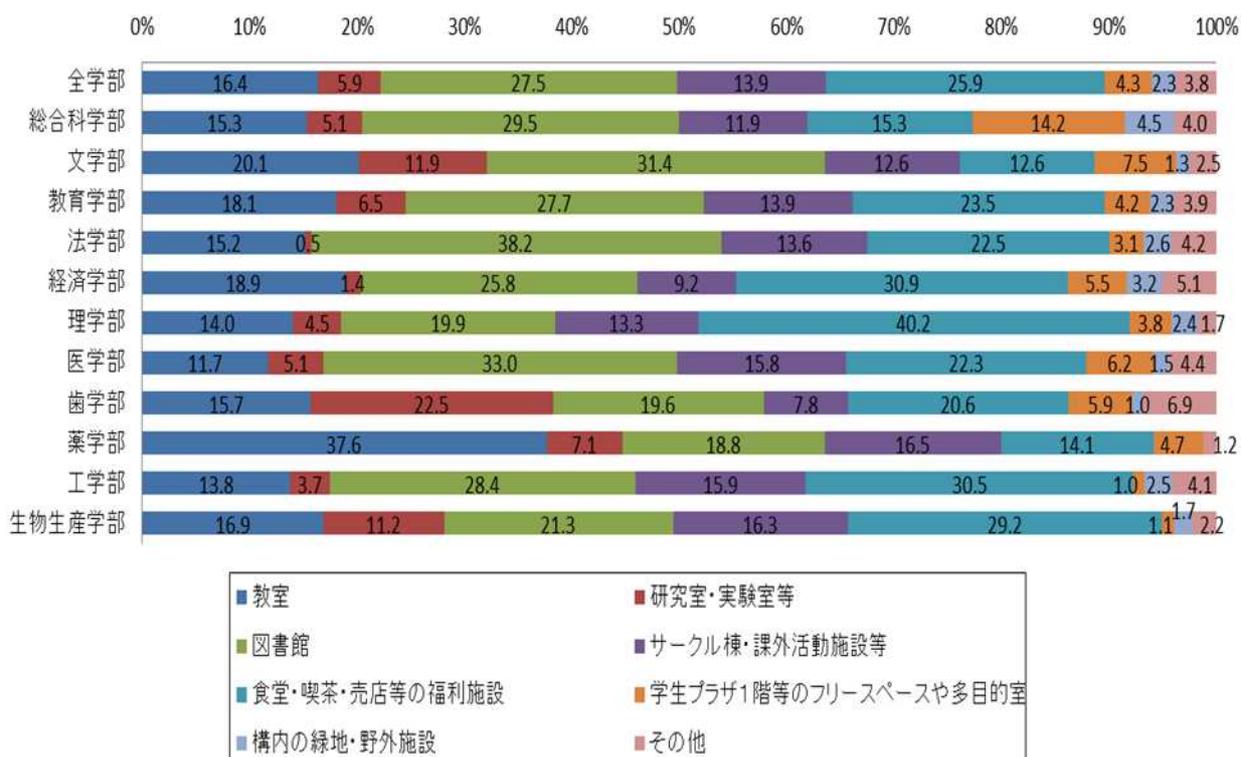
設問9 大学構内の滞在時間のうち、1番多く滞在している場所はどこですか。

大学内で1番長く滞在している場所を全体でみると、教室（60.2%）、研究室・実験室（18.9%）、図書館（9.1%）の順である。



設問10 大学構内の滞在時間のうち、2番目に多く滞在している場所はどこですか。

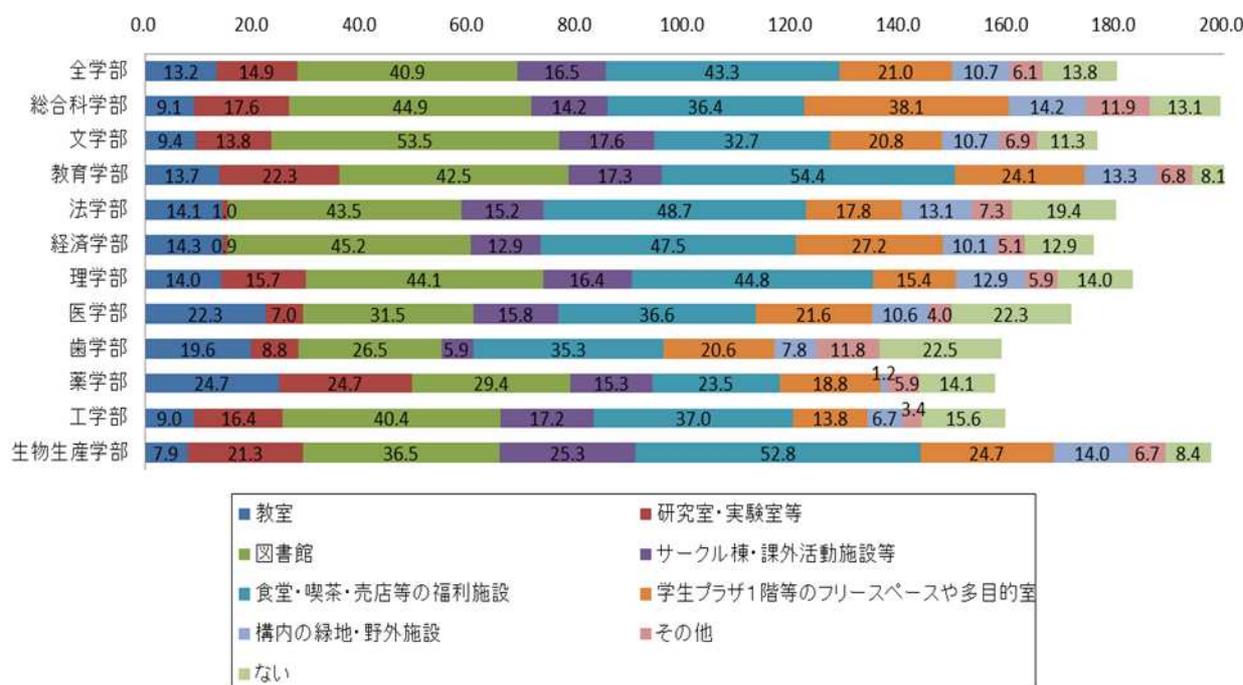
大学内で2番目に長く滞在している場所は、全体では図書館（27.5%）、食堂・喫茶・売店等の福利施設（25.9%）、教室（16.4%）、サークル棟・課外活動施設等（13.9%）となっている。



7 大学構内でくつろいで過ごせる場所

設問 11 大学内にくつろいで過ごせる場所がありますか。(複数回答可)

大学構内でくつろいで過ごせる場所は、全体では、食堂・喫茶・売店等の福利施設 (43.3%)、図書館 (40.9%)、学生プラザ1階等のフリースペースや多目的室 (21.0%)、サークル棟・課外活動施設等 (16.5%) の順である。文学部 (20.8%)、総合科学部 (8.5%)、薬学部 (5.9%)、工学部 (3.4%) では、福祉施設より図書館でくつろげると回答した学生が多い。学生プラザの利用が多いのは、総合科学部 (38.1%)、経済学部 (27.2%)、生物生産学部 (24.7%) である。

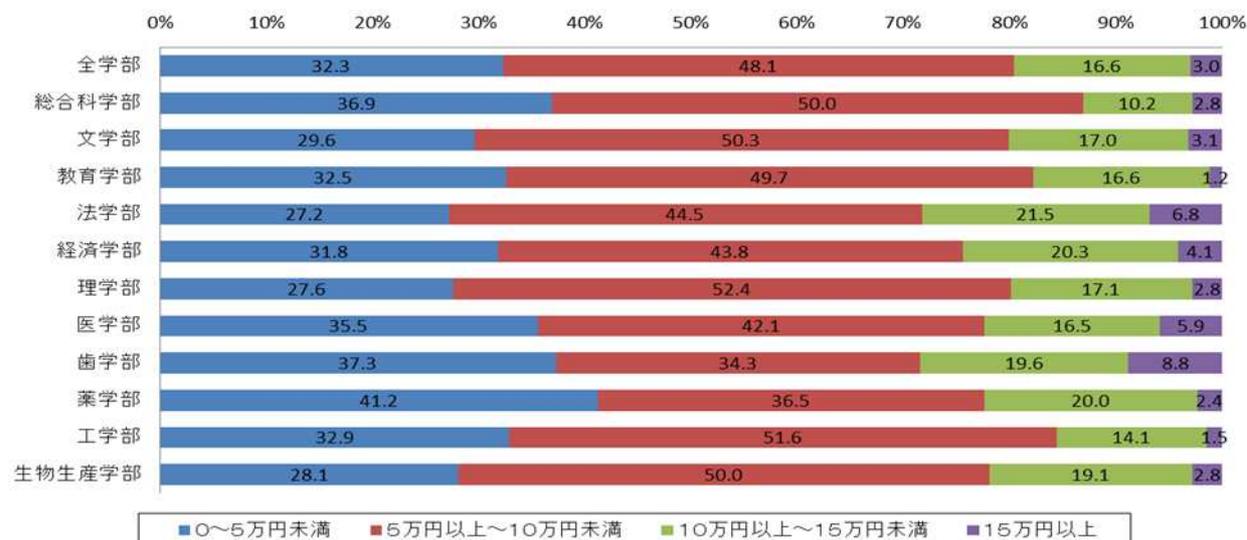


8 1ヶ月の生計費(収入・支出)

設問 12 1ヶ月の生計費(収入)はいくらですか。

1ヶ月の生計費(収入)について、全学部で見た場合、5万円以上～10万円未満が48.1%と最も多くなっている。これに0～5万円未満(32.3%)、10万円以上～15万円未満(16.6%)、15万円以上(3.0%)の順となっている。また前回調査と比較して、0～5万円未満、5万円以上～10万円未満の比率がそれぞれ高まっており、生計費(収入)の減少が生じていることが明らかになった。結果として生計費(収入)が10万円未満の学生の比率は大幅に増加(前々回調査43.1%→前回調査75.1%→80.4%)してきている。

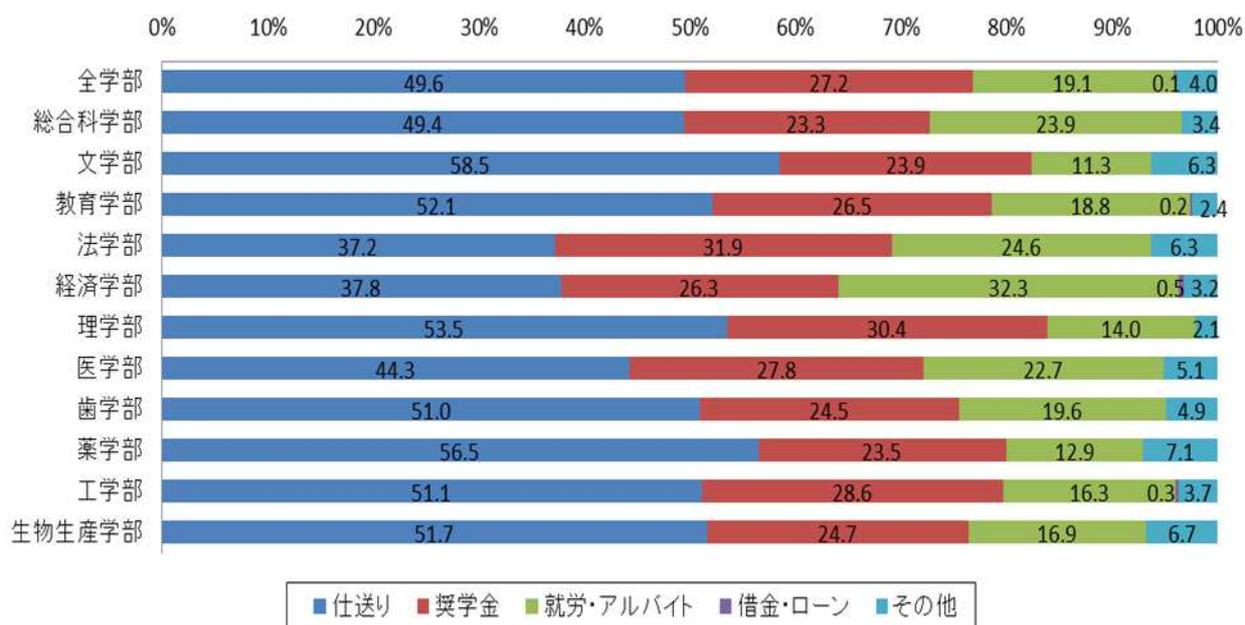
学部別に見ると、総合科学部、医学部、歯学部、薬学部で0～5万円未満の比率が35%を超えていることがわかる。



設問 13 1ヶ月の生計費（収入）のうち、1番多い収入は、次のどれですか。

1ヶ月の生計費（収入）のうち1番目に多い収入について、全学部で見た場合、仕送り（49.6%）が最も大きくなっている。次いで奨学金（27.2%）、就労・アルバイト（19.1%）、その他（4.0%）、借金・ローン（0.1%）の順となっている。

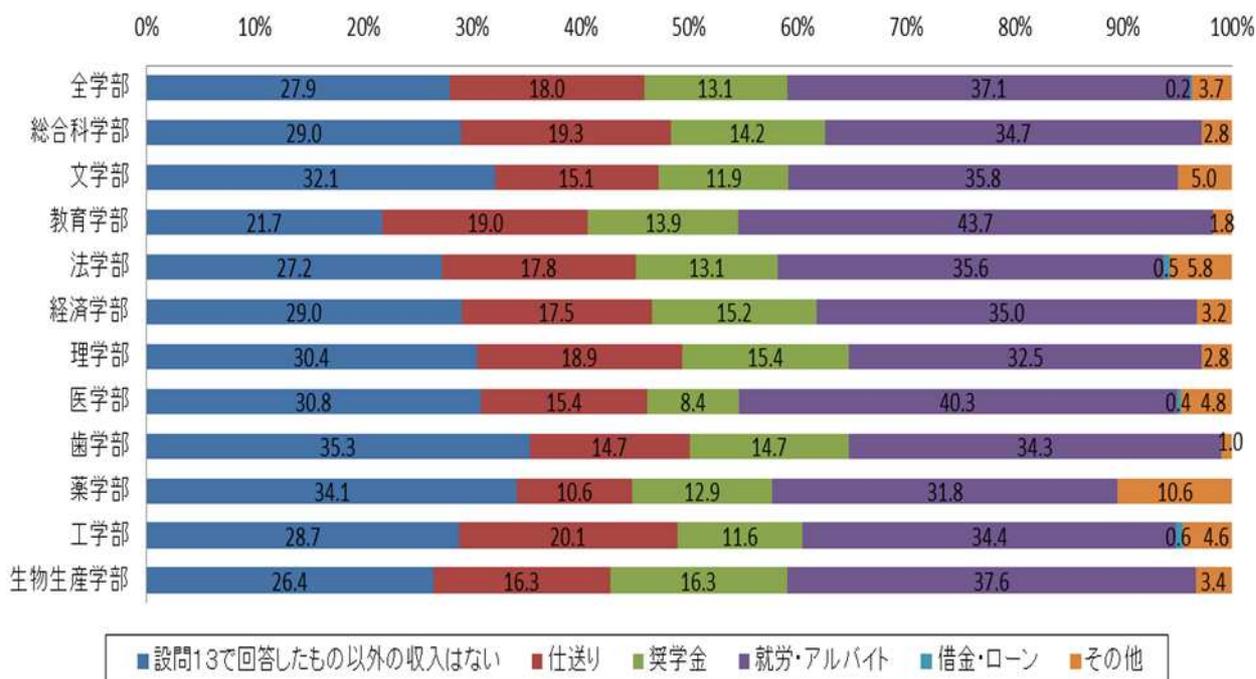
学部別に見た場合、法学部、経済学部で仕送りの比率が4割を切る一方で、法学部は奨学金の比率（31.9%）が他学部との比較で最も高く、経済学部は就労・アルバイトの比率（32.3%）が最も高くなっている。



設問 14 1ヶ月の生計費（収入）のうち、2番目に多い収入は、次のどれですか。

1ヶ月の生計費（収入）のうち2番目に多い収入について、全学部で見た場合、就労・アルバイト（37.1%）が最も大きくなっている。次いで「設問13で回答した以外の収入はない」（27.9%）、仕送り（18.0%）、奨学金（13.1%）、その他（3.7%）、借金・ローン（0.2%）の順となっている。

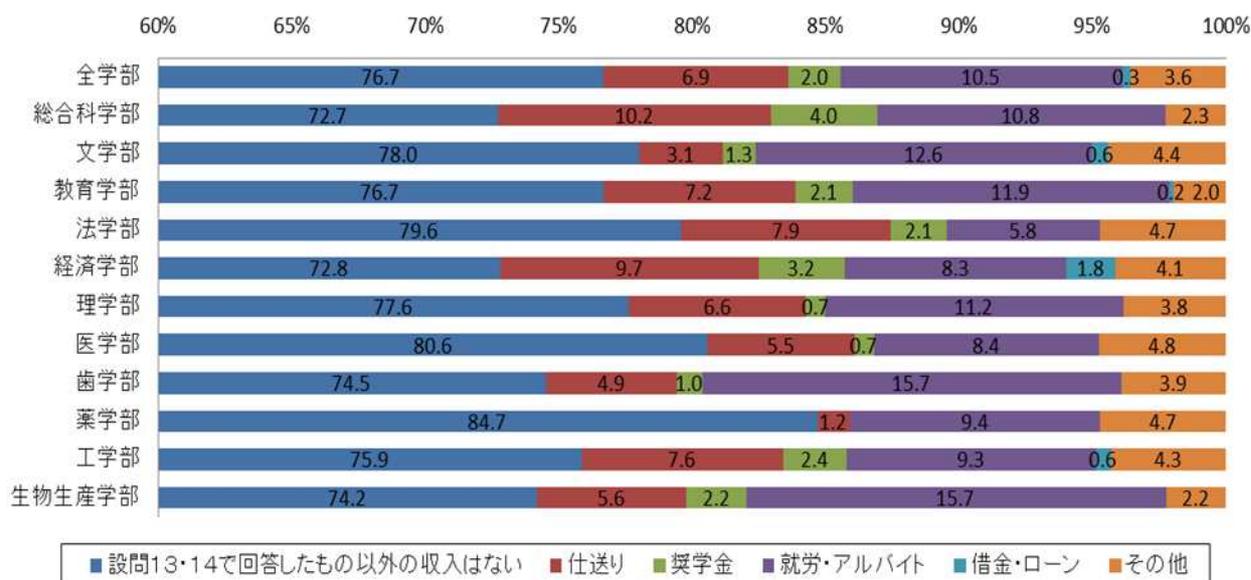
学部別に見た場合、教育学部と医学部で就労・アルバイトの比率が4割を超えている。



設問 15 1ヶ月の生計費（収入）のうち、3番目に多い収入は、次のどれですか。

1ヶ月の生計費（収入）のうち3番目に多い収入について、全学部で見た場合、「設問13・14で回答した以外の収入はない」（76.7%）が最も大きくなっている。次いで就労・アルバイト（10.5%）、仕送り（6.9%）、その他（3.6%）、奨学金（2.0%）、借金・ローン（0.3%）の順となっている。

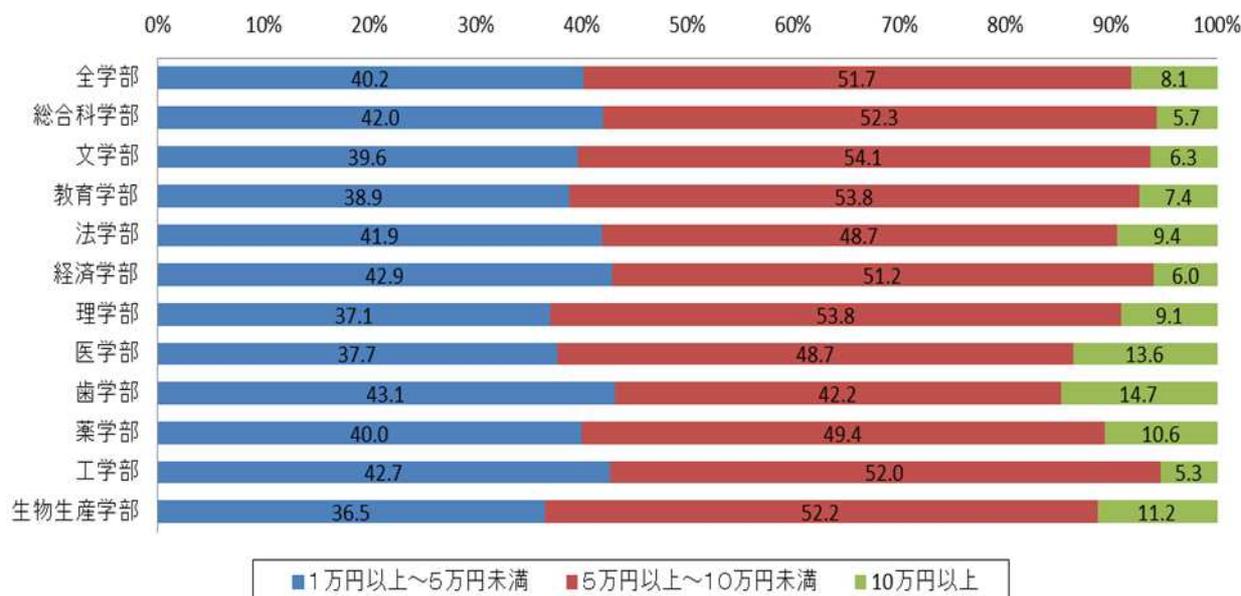
学部別に見た場合、医学部と薬学部で「設問13・14で回答した以外の収入はない」が8割を超えている。



設問 16 1ヶ月の生計費（支出）はいくらですか。

1ヶ月の生計費（支出）について、全学部で見た場合、5万円以上～10万円未満が最も多くなっている。次いで1万円以上～5万円未満、10万円以上の順となっている。また前回調査と比較して、5万円以上～10万円未満（前回調査53.8%→51.7%）、10万円以上（前回調査11.9%→8.1%）の比率がそれぞれ減少し、1万円以上～5万円未満（前回調査34.2%→40.2%）の比率が高まっている。結果として、生計費（支出）の減少が生じていることが明らかになった。

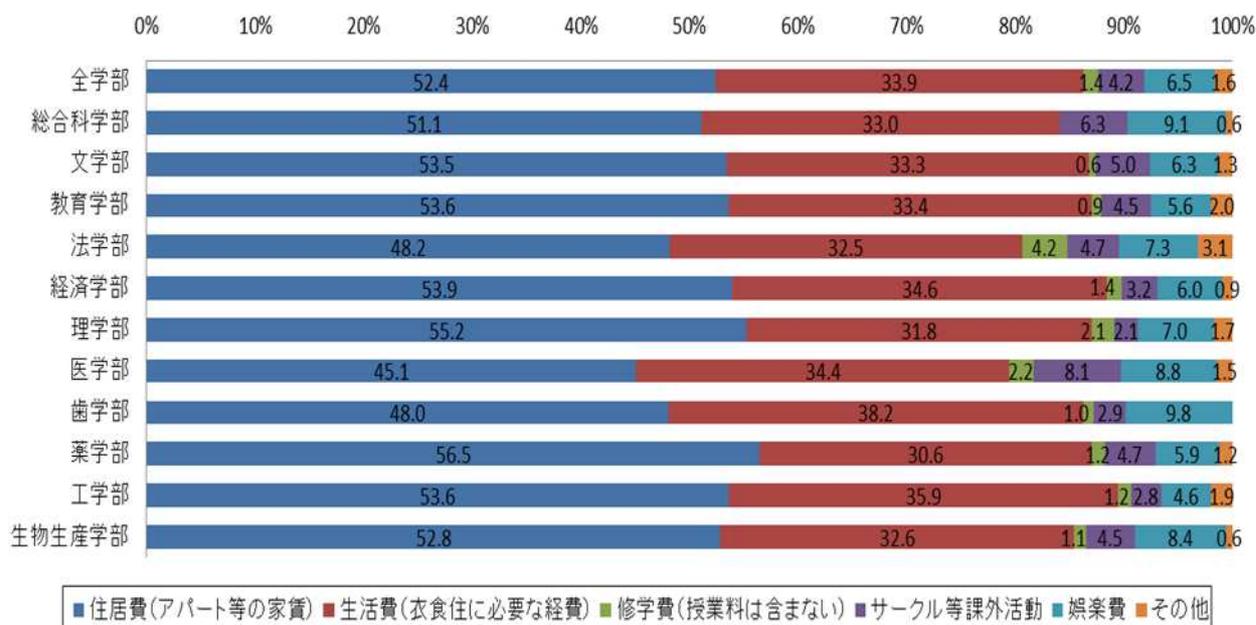
学部別に見ると、1万円以上～5万円未満の比率が最も高いのは、歯学部、次いで経済学部、工学部、法学部の順となっている。



設問 17 1ヶ月の生計費（支出）のうち、1番多く必要とする経費は何ですか。ただし、授業料は含みません。

1ヶ月の生計費（支出）のうち、1番多く必要とする経費について、全学部で見た場合、住居費（アパートの家賃）（52.4%）、生活費（衣食住に必要な経費）（33.9%）、娯楽費（6.5%）、サークル等課外活動（4.2%）、その他（1.6%）、修学費（1.4%）の順となる。

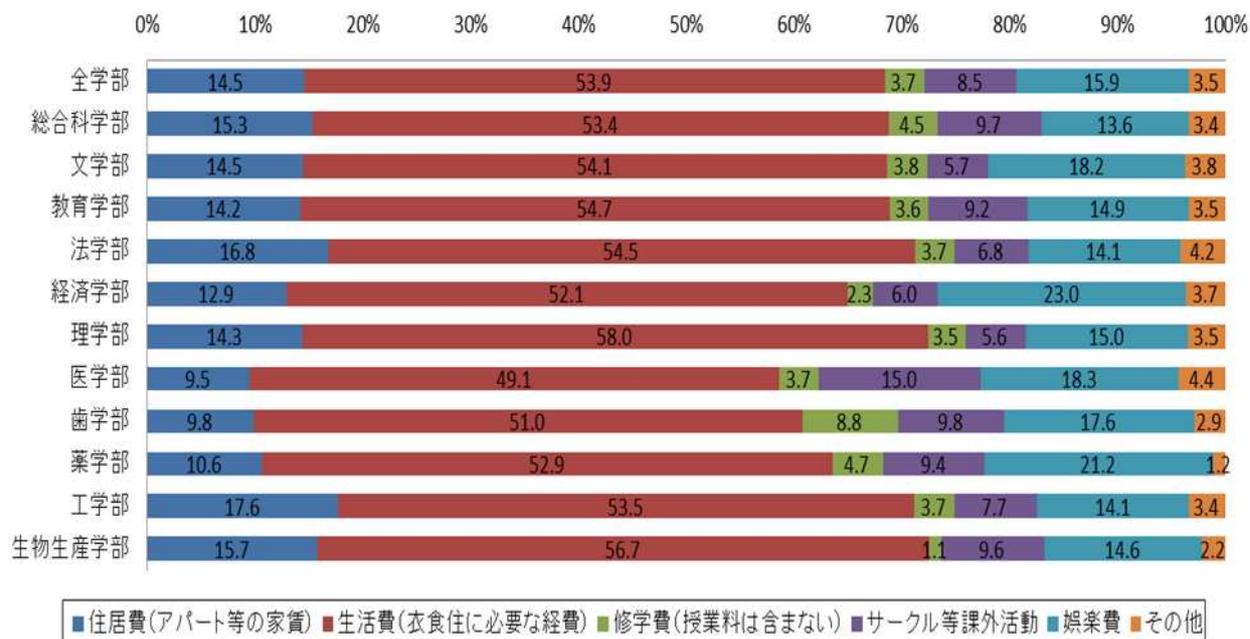
学部別にみると、住居費の比率は法学部、医学部、歯学部で5割を切っていることが分かる。



設問 18 1ヶ月の生計費（支出）のうち、2番目に多く必要とする経費は何ですか。ただし、授業料は含みません。

1ヶ月の生計費（支出）のうち、2番目に多く必要とする経費について、全学部で見た場合、生活費（衣食住に必要な経費）（53.9%）、娯楽費（15.9%）、住居費（アパートの家賃）（14.5%）、サークル等課外活動（8.5%）、修学費（3.7%）、その他（3.5%）の順となる。

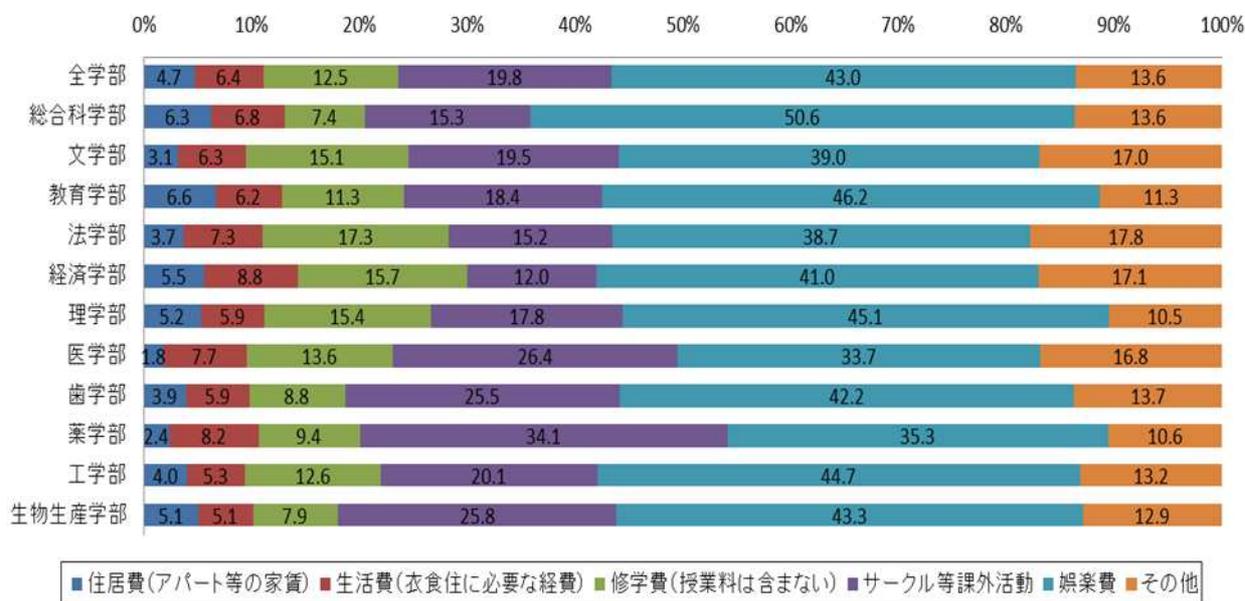
学部別にみても、ほとんどの学部で生活費と回答する比率が5割を超えている。



設問 19 1ヶ月の生計費（支出）のうち、3番目に多く必要とする経費は何ですか。ただし、授業料は含みません。

1ヶ月の生計費（支出）のうち、3番目に多く必要とする経費について、全学部で見た場合、娯楽費（43.0%）、サークル等課外活動（19.8%）、その他（13.6%）、修学費（12.5%）、生活費（衣食住に必要な経費）（6.4%）、住居費（アパートの家賃）（4.7%）の順となる。

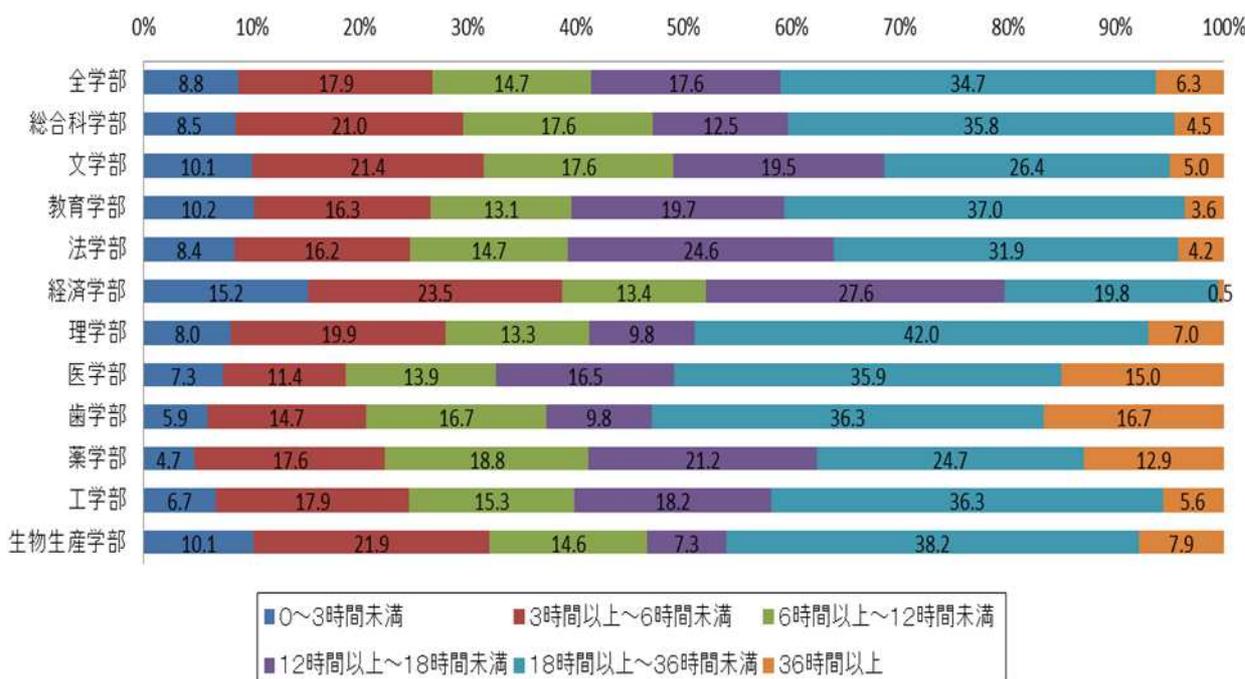
学部別にみた場合、娯楽費と回答する比率が総合科学部のみ5割を超えている。



9 1週間の学習時間

設問 20 授業期間中、平均して1週間でどれくらいの時間を授業・ゼミにあてていますか。

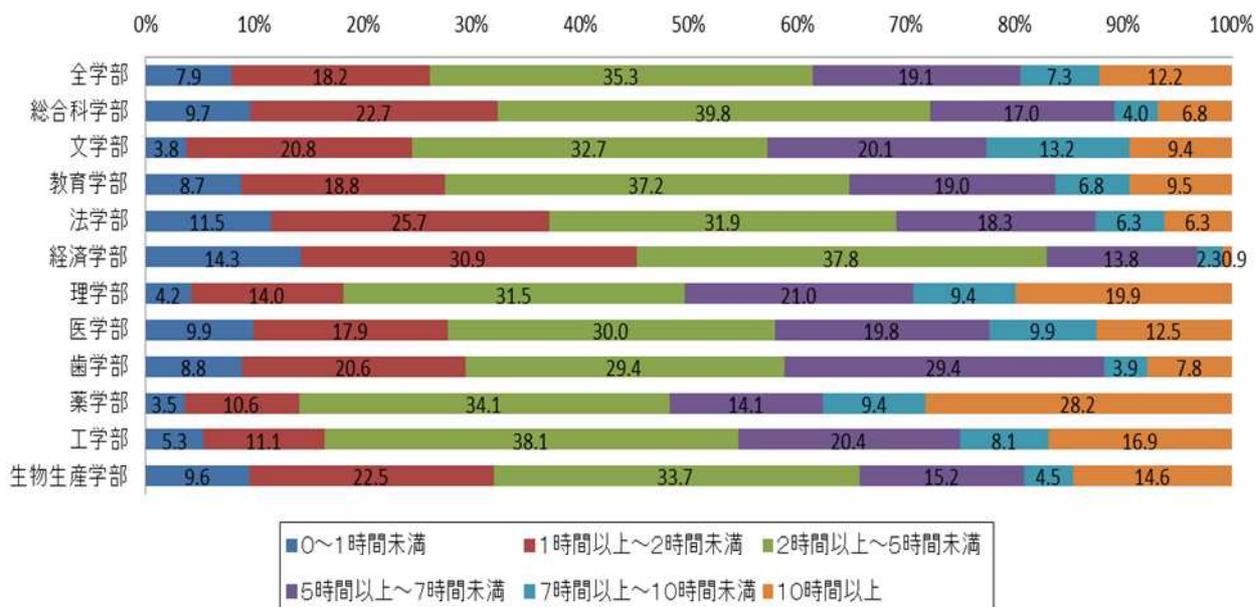
授業・ゼミ等にあてる1週間の平均時間を全学的に見ると、多い順に18時間以上36時間未満が34.7%、3時間以上6時間未満が17.9%、12時間以上18時間未満が17.6%などとなっている。この傾向は学部によって顕著に差が見られ、例えば、経済学部では12時間（1.6コマ/日）未満で半数以上を占めるのに対し、理学部、医学部、歯学部では18時間以上（2.4コマ/日）が約半数を占めるという結果になった。これは各学部におけるカリキュラムや必修科目などの多寡が関係しているものと思われる。



設問 21 授業期間中、平均して1週間でどれくらいの時間を研究や授業・ゼミの予習・復習・レポート作成などにあてていますか。

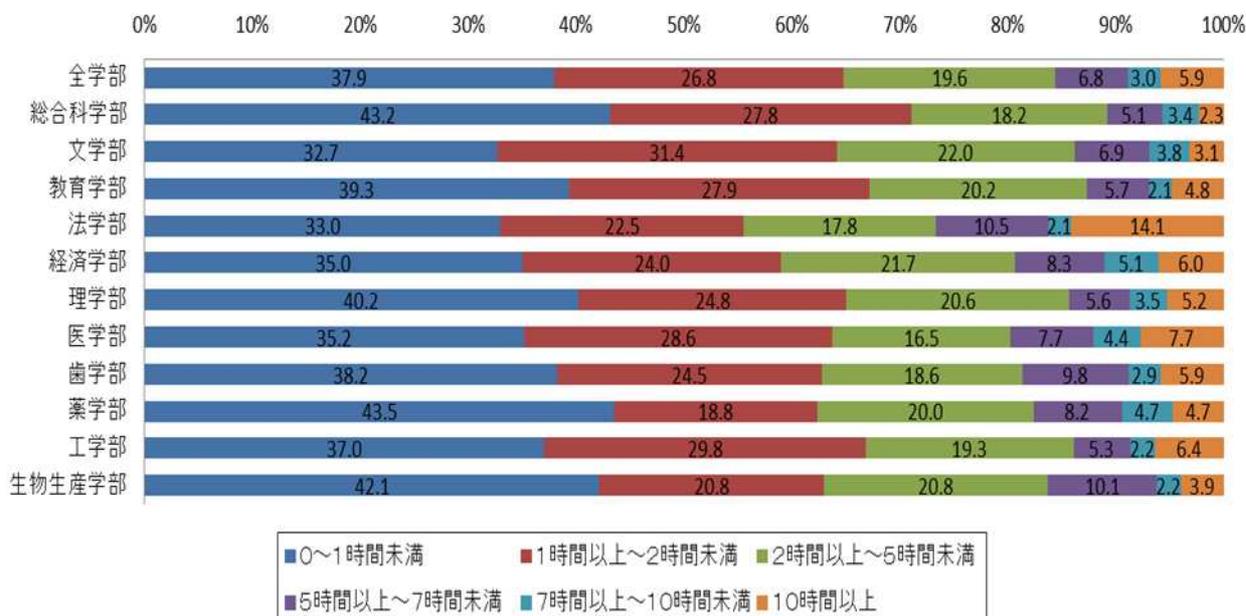
研究や授業・ゼミ等の予復習にあてる1週間の平均時間を全学的に見ると、多い順に2時間以上5時間未満が35.3%、5時間以上7時間未満が19.1%、1時間以上2時間未満が18.2%、などとなっている。この傾向は学部によってやや差はみられるものの、概ね全学部に通じた傾向と言える。しかし10時間以上を費やしている学生の比率は学部によってかなりバラツキがみられた。

例えば、経済学部は0.9%しかないのが薬学部では28.2%となっており、総じて理系学部が多い傾向がみられた。これは実験レポートの作成や卒論の研究実験などに時間が掛かることが関係しているのかも知れない。



設問 22 授業期間中、平均して1週間でどれくらいの時間を授業・ゼミ・研究以外の学習にあてていますか。

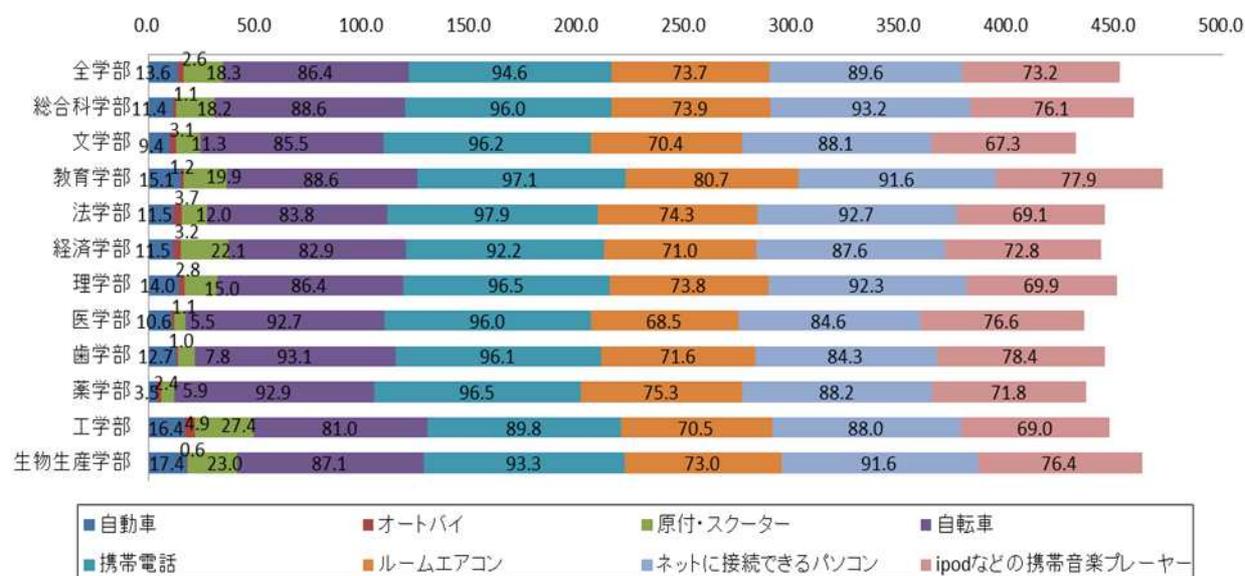
これには各種資格・就職試験準備や授業以外の語学、或いは趣味・教養に関する学習などが該当するものと思われるが、1週間の平均時間を全学的に見ると、多い順に1時間未満が37.9%、1時間以上2時間未満が26.8%、2時間以上5時間未満が19.6%などとなっている。この傾向は学部によって殆ど差が見られず、8割~9割の学生が、これらの学習には1日当たり1時間未満の時間しかあてていないことが分かる。



10 所有もしくは占有している物

設問 23 所有もしくは専用物がありますか。(複数回答可)

学生の所有物の所有比率を全学的に見ると、自動車 13.6% (H22 年度 18.2%, H20 年度 20.8%), オートバイ 2.6% (H22 年度 2.6%, H20 年度 3.7%), 原付・スクーター 18.3% (H22 年度 21.3%, H20 年度 24.7%) と何れも前回, 前々回と比べると減少傾向にあり, 逆に自転車は 86.4% (H22 年度 85.4%, H20 年度 82.2%) とやや増加傾向が伺える。携帯電話 94.6% (H22 年度 95.8%, H20 年度 90.7%), ネットに接続できるパソコン 89.6% (H22 年度 88.7%, H20 年度 78.3%) は前回調査とほぼ変わらず, 既に殆どの学生が所有しているものと考えられる。ルームエアコン 73.7% (H22 年度 76.7%, H20 年度 70.9%), 携帯音楽プレーヤー 73.2% (H22 年度 71.0%, H20 年度 57.4%) なども前回調査時とあまり比率に変化がみられないが, これらはまだ 3 割弱の学生が所有していない。また学部による差異は殆どみられなかった。

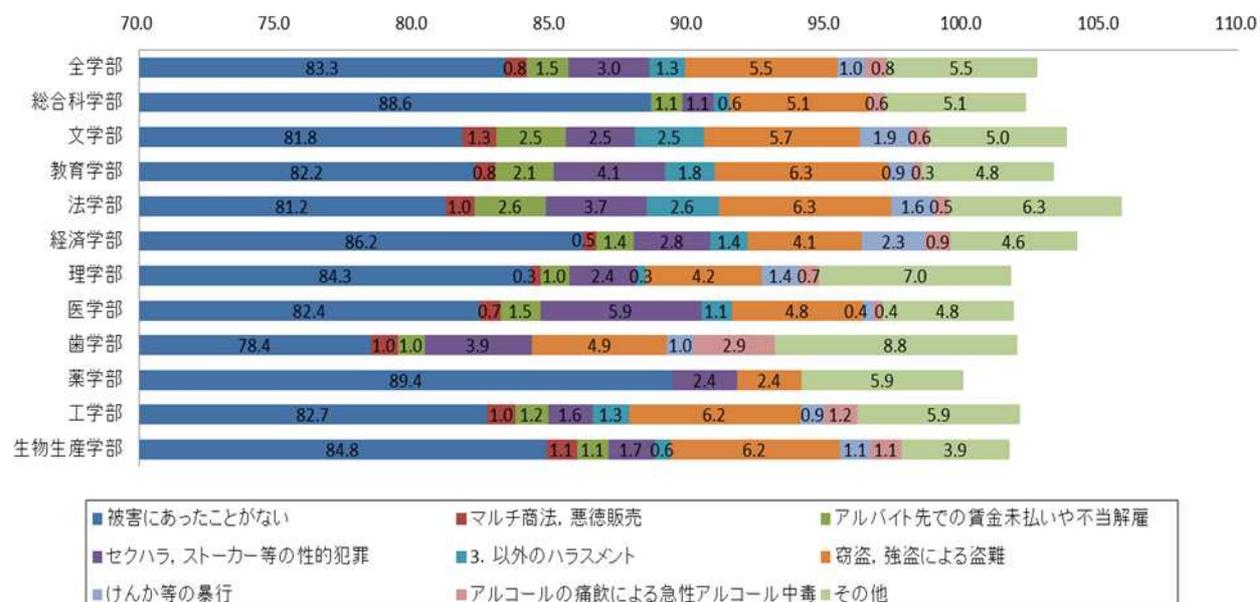


11 犯罪やトラブルなどの被害経験

(複数回答可)

設問 24 学生生活において, 何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことがありますか。

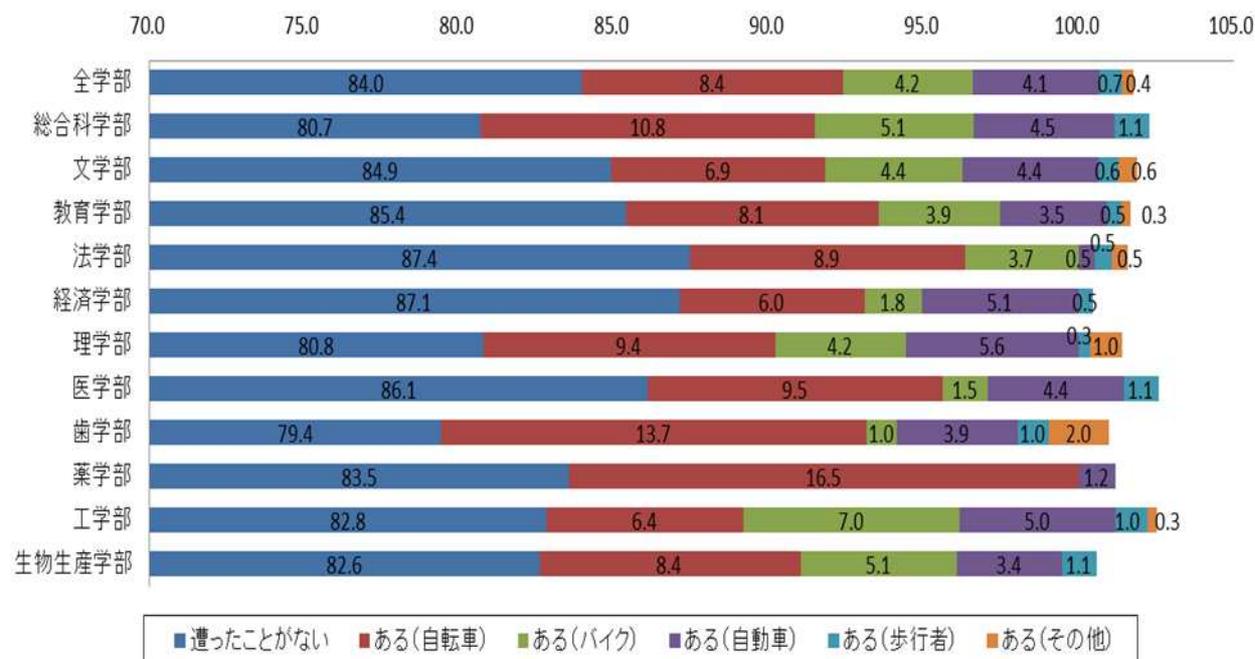
犯罪やトラブルなど, 何らかの被害にあったことがある者は 16.7% で, H20,22 年度調査とほぼ同じ結果であった。割合として高いのは盗難であり, 過去の調査では 4.9%, 6.4%, 今回 5.5% と推移している。次いでセクハラ, ストーカー等の性犯罪 3.0% であり, 特に医学部が 5.9% と高い。アルバイト先での賃金未払いや不当解雇が 1.5% となっている。全回答者のうち 500 人を超える学生が何らかの被害にあったことを示しており, 決して少なくない被害数である。



1.2 交通事故の経験

設問 25 在学中交通事故に遭ったことがありますか。(複数回答可)

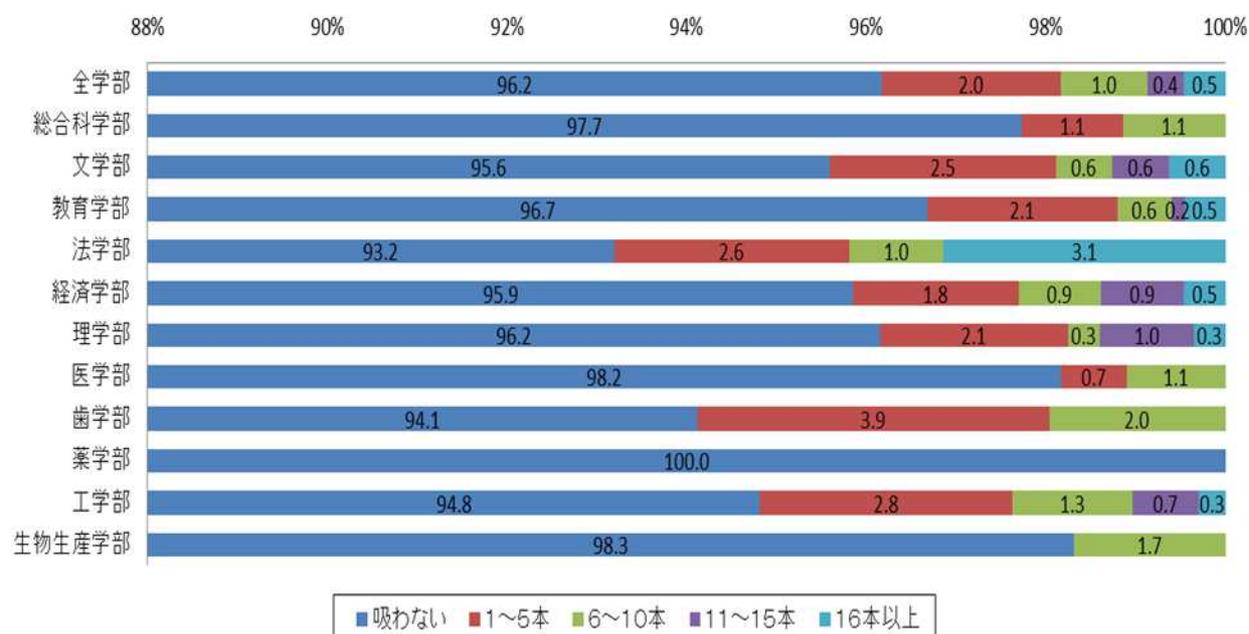
在学中に交通事故にあったことがある者は 16%。自転車での事故がもっとも多く 8.4%、次にバイク 4.2%、自動車 4.1%、歩行者 0.7%となっており、前回とほぼ同様の結果であった。この調査結果には表れていないが、ここ 3 年連続で自動車あるいはバイクによる在学生の交通死亡事故が起きているので注意を喚起したい。



1.3 喫煙及び飲酒の習慣

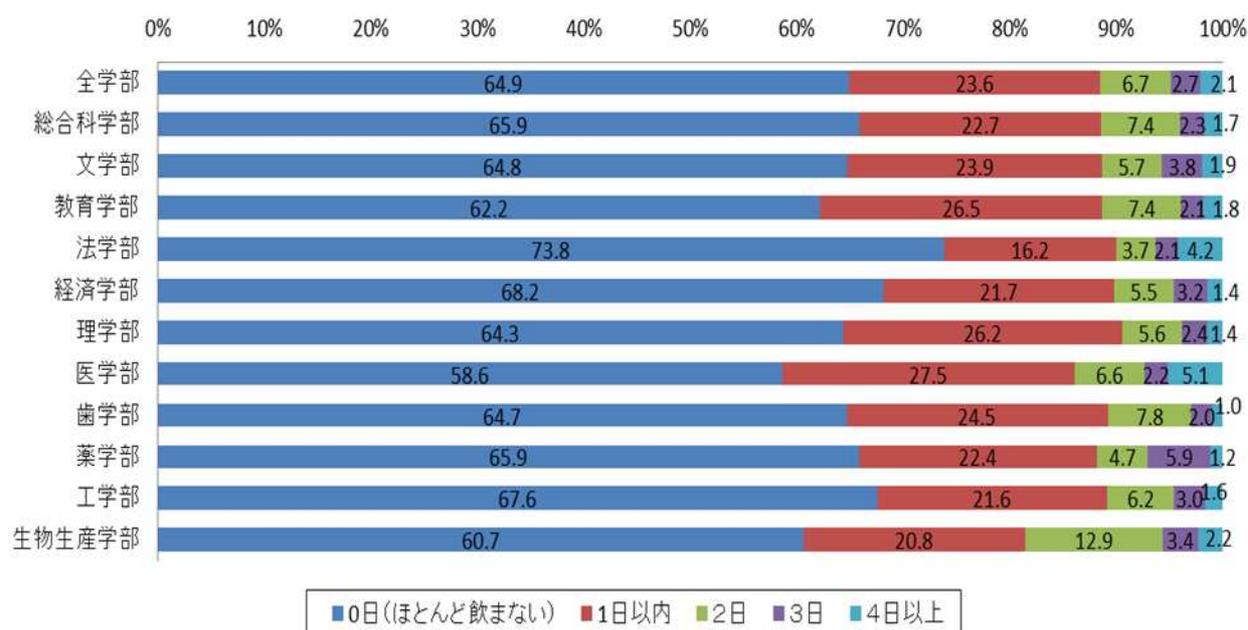
設問 26 喫煙の習慣がありますか。1日に吸う本数をお答えください。

喫煙の習慣がある者は 3.9%であり、過去の調査では 7.0%、5.9%であるからさらに減少し、1日に吸う本数も減っている。



設問 27 飲酒の習慣がありますか。1週間に飲む日数でお答えください。

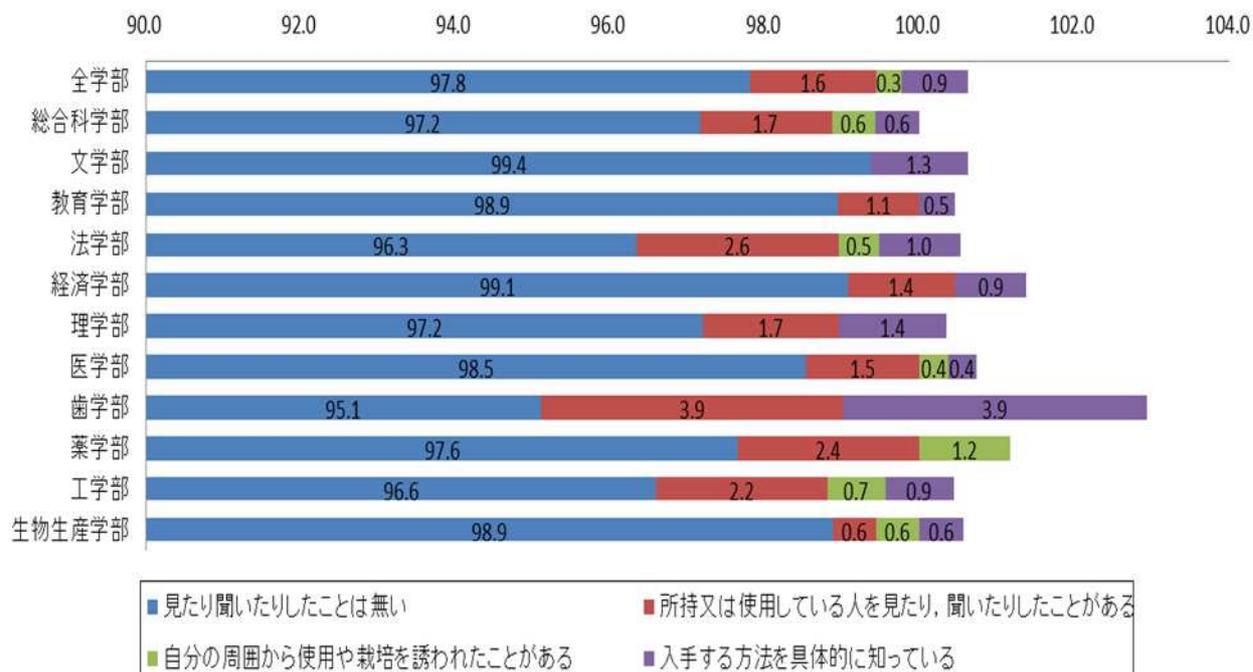
飲酒の習慣がある者は、35.1%であり、過去の調査では34.1%、36.8%であるから、H20年度よりは増え、H22年度よりは減っている。週の内の3日以上飲酒する者が4.8%であり、過去の調査では8.7%、5.7%であるから、飲酒する頻度は減っている。



1.4 薬物（大麻等・覚醒剤）について

設問 28 薬物（大麻等・覚醒剤）について、該当するものを選択してください。（授業・研究目的のものは除く）（複数回答可）

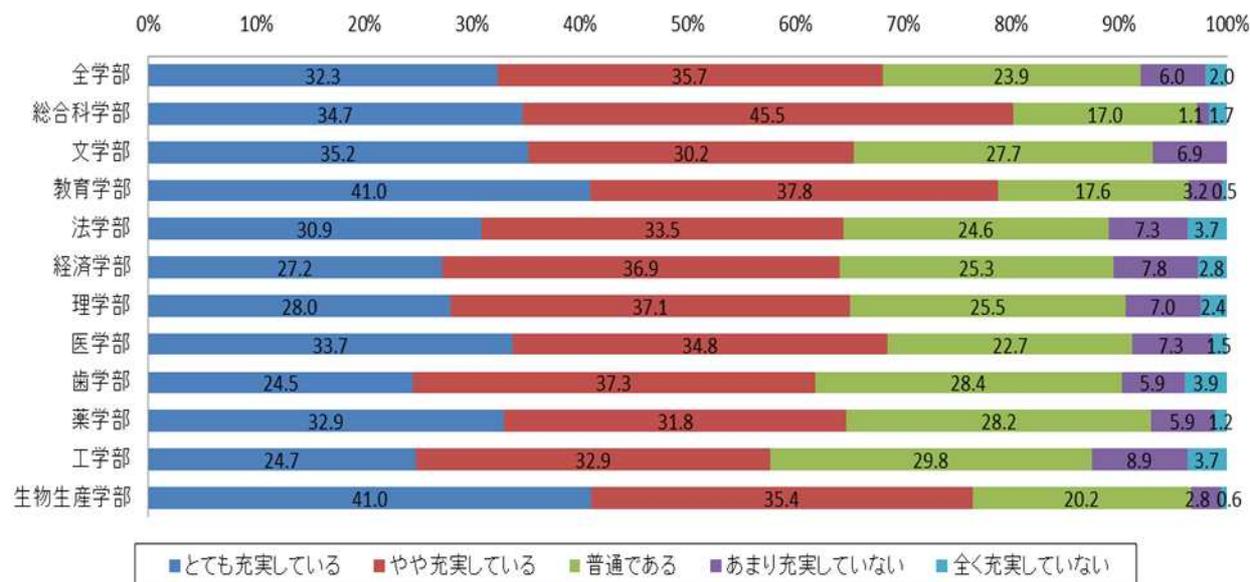
薬物（大麻等・覚醒剤）について、97.8%が見たり聞いたりしたことはないと回答しており、前回97.4%と同様の結果であった。しかし、所持又は使用している人を見たり聞いたりしたことがある者1.6%、薬物の使用や栽培を誘われたことがある者も0.3%存在する。入手方法を知っていると回答した学生が3.9%いる学部もあり、薬物は決して遠くない存在になっている。



15 授業以外の学生生活の充実度

設問 29 授業以外の学生生活を充実して過ごしていますか。

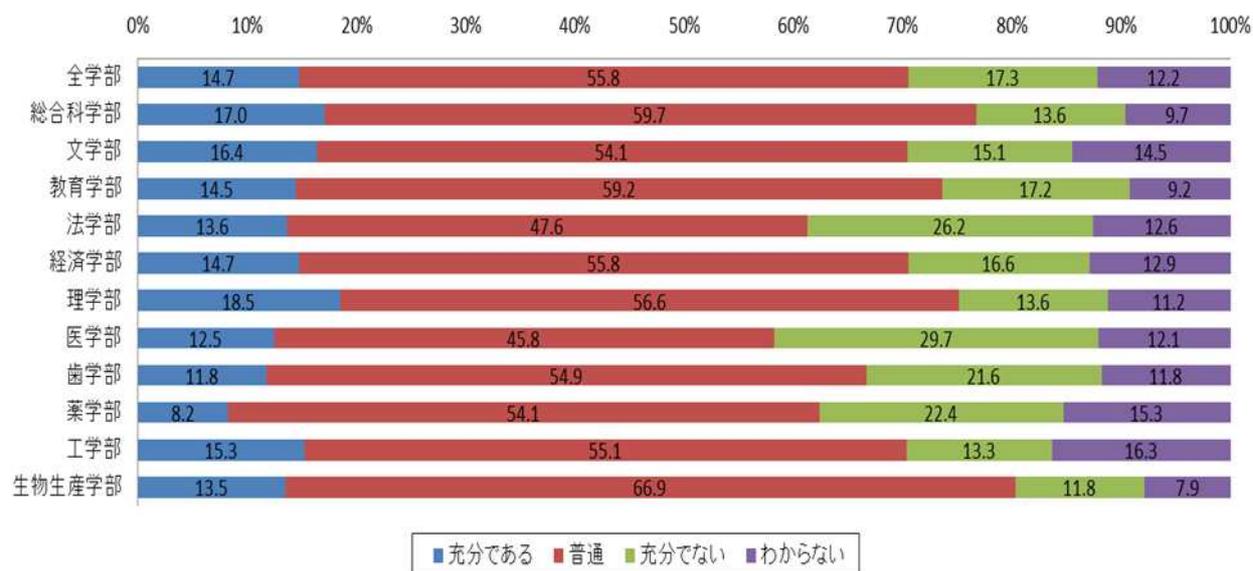
全体では「とても充実している」「やや充実している」を合わせると70.5%であり、過去の調査では66.4%、68.6%であるから、若干増加している。「あまり充実していない」「全く充実していない」と回答したのは8.1%であり、学部によって2.8%から12.6%とばらつきがあった。これらの結果は過去の調査と同様の傾向であった。



16 授業以外の学生生活に対する大学のサポート体制やサービス

設問 30 授業以外の学生生活に関して、大学側のサポート（支援）体制やサービス内容・メニューは、全般的に見て充分だと思えますか。

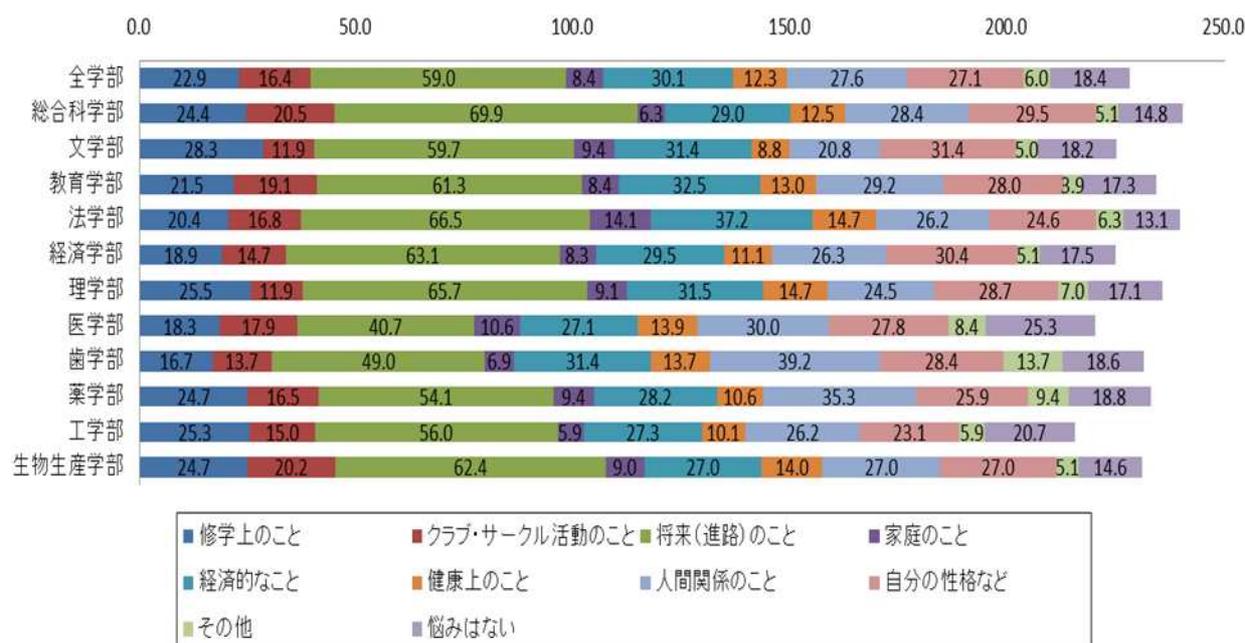
「充分である」が14.7%であり、過去の調査では13.5%、17.0%であるから、前回より若干減少している。「充分でない」が17.3%であり、過去の調査では13.7%、15.8%であるから、減少している。「充分である」「普通」を合わせると70.5%であり、過去の調査では73.2%、68.9%であるから、サポート体制やサービスがそれほど低下したとはいえない。



17 学生生活の悩み

設問 31 学生生活の中で悩みがありますか。(複数回答可)

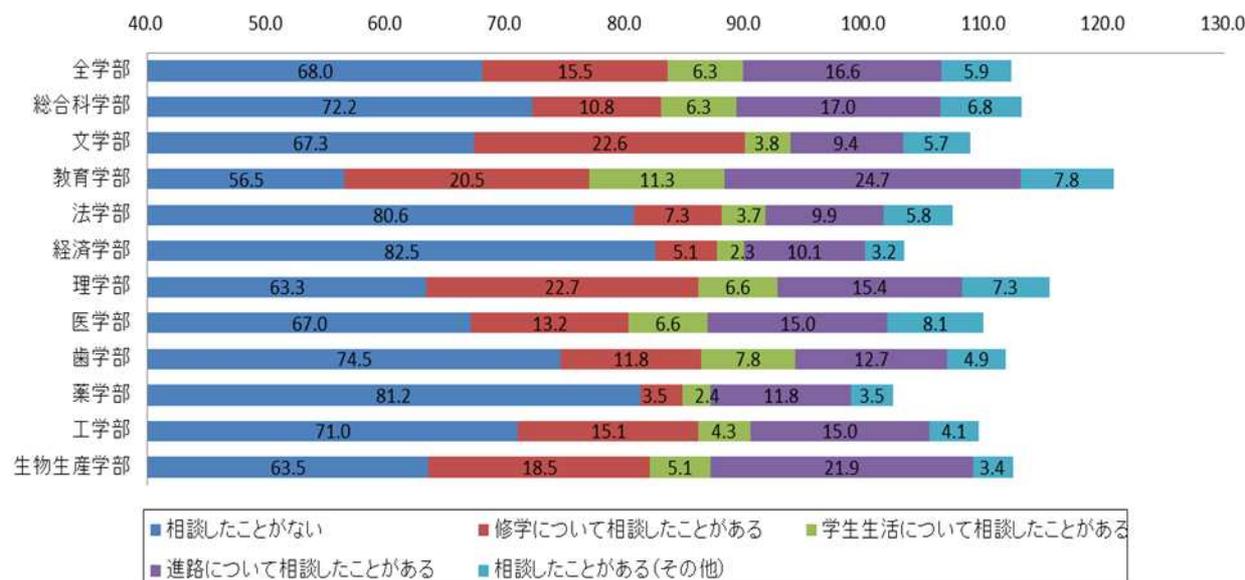
「悩みはない」者は18.4%であった。悩みの割合の高かったのは将来(進路)のこと59.0%(前回調査70.8%)であり、次に経済的なこと30.1%(14.6%)，人間関係27.6%(32.3%)，自分の性格など27.1%(31.0%)，修学上のこと22.9%(40.3%)と続く。前回調査では「悩みはない」という回答がなかったことから，今回調査よりも割合が高くなった可能性はあるが，前回調査で上位を占めた将来(進路)，修学上の問題，経済的なこと，人間関係，自分の性格の順と若干変化がみられた。



18 チューターへの相談と相談内容

設問 32 修学や学生生活に関して相談するチューター教員がいますが，チューターに相談したことがありますか。相談したことがある場合は，相談内容を選択してください。(複数回答可)

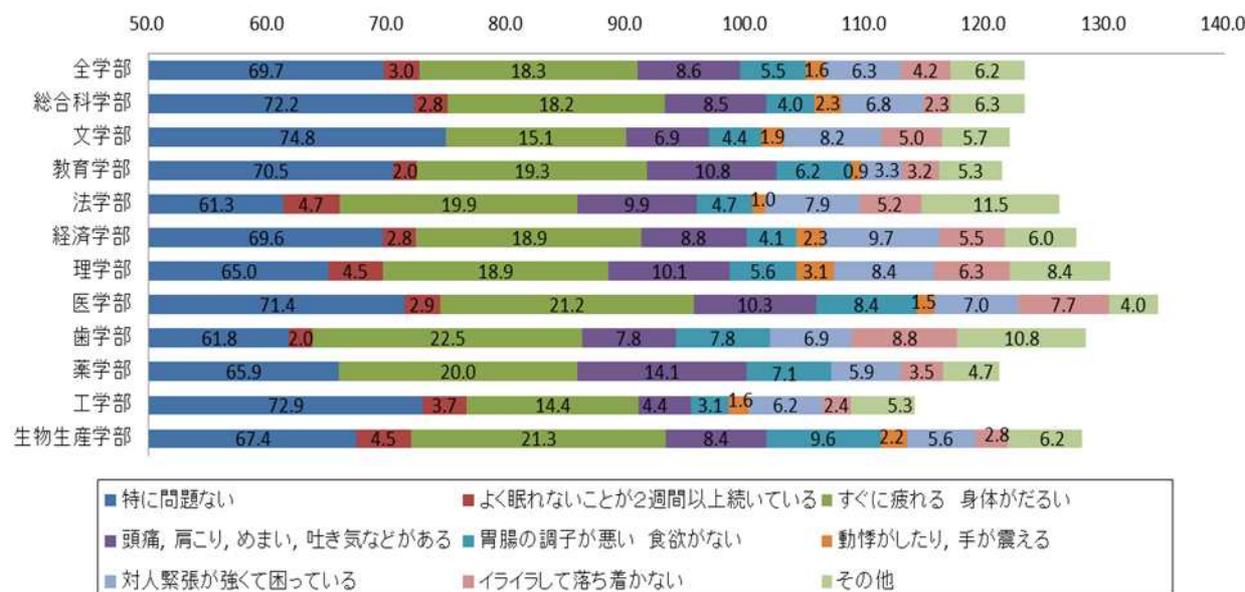
全体では32.0%が相談の経験があり，過去の調査では26.9%，31%であるから若干増加している。チューターへの相談経験は，学部によって17.5%から43.5%とばらつきがある。相談内容で多いのは，進路と修学についてであった。



19 現在の健康状態

設問 33 現在の健康状態はどうか。(複数回答可)

全体では 69.7%が特に問題ないと回答している。その一方で、不調として多く回答されたのは、すぐに疲れる・身体がだるい 18.3%，頭痛・肩こり等 8.6%，対人緊張が強くて困っている 6.3%，胃腸の調子が悪い・食欲がない 5.5%，イライラして落ち着かない 4.2%，よく眠れないことが 2 週間以上続いている 3.0%である。過去の調査と同様の傾向であるが、うつ病の身体症状が懸念される状態、疲労感や対人緊張を少なからず呈している。

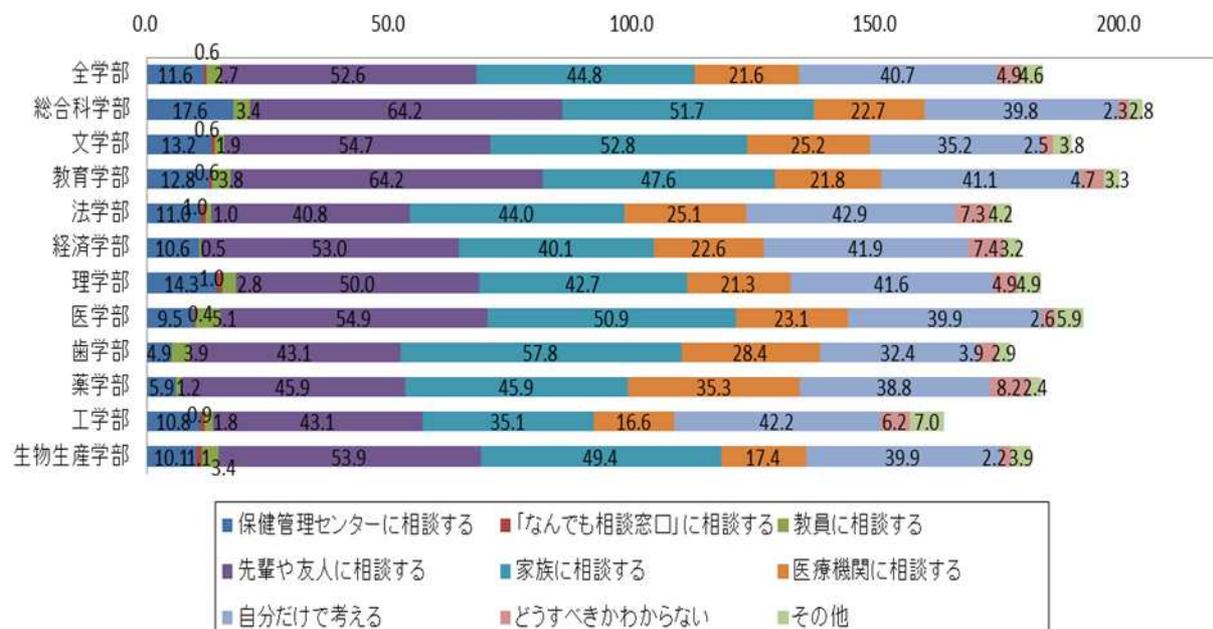


20 身体面・心理面の悩みの解消

設問 34 身体面, 心理面で何か悩みが生じた場合には, 解消に向けてどうしますか。

(複数回答可)

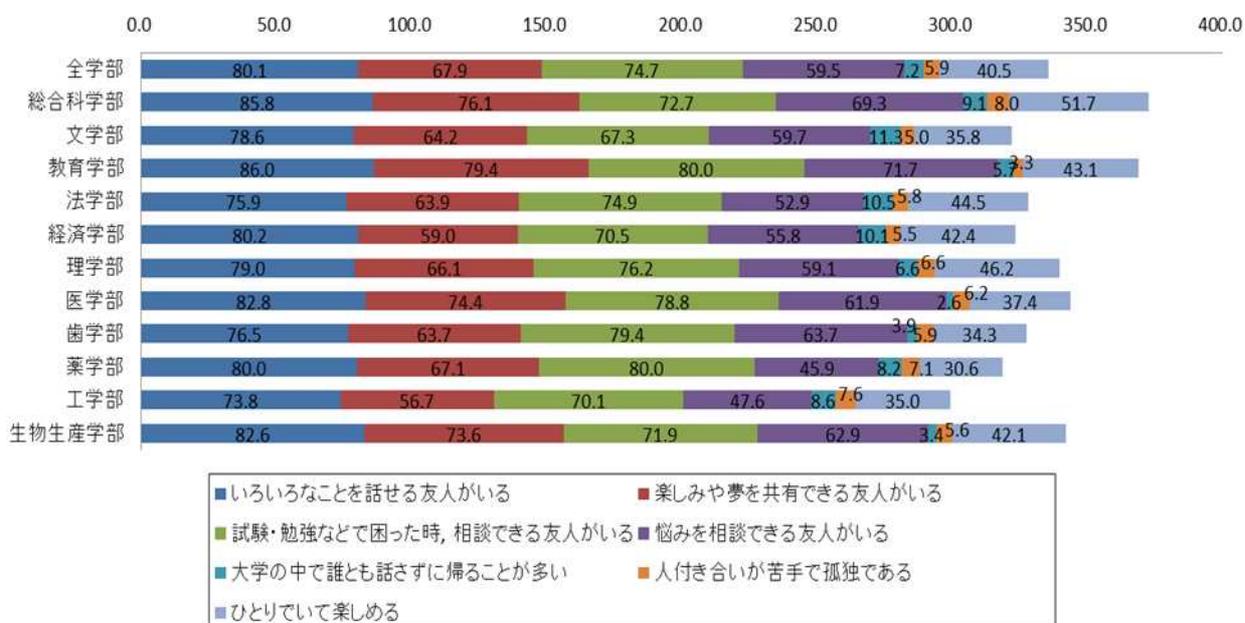
自分だけで考えると回答した者が 40.7%であった。他者に相談する場合の対象は、先輩や友だちが 52.6%，家族が 44.8%，医療機関が 21.6%，保健管理センターが 11.6%，教員が 2.7%であり、どうすべきかわからないと回答した者は 4.9%であった。この結果も過去の調査と同様の傾向であった。



2.1 友人との関係

設問 35 友人についてお尋ねします。(複数回答可)

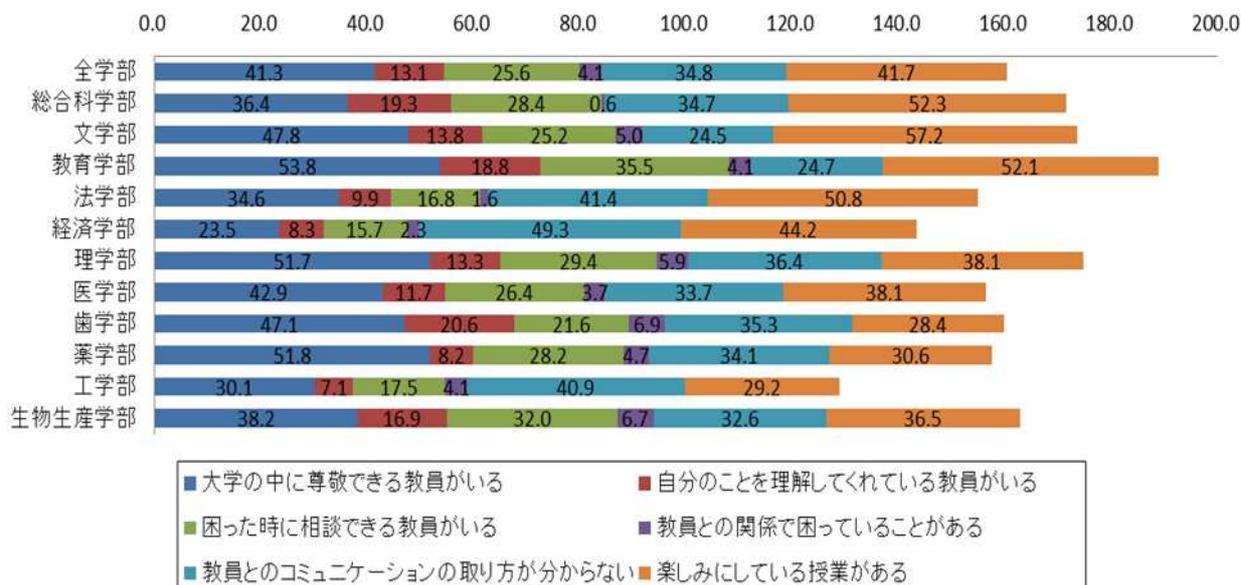
友人との関係では、いろいろなことを話せる友人がいる 80.1%，試験・勉強などで困った時、相談できる友人がいる 74.7%，楽しみや夢を共有できる友人がいる 67.9%，悩みを相談できる友人がいる 59.5%であり、6割から8割の学生は楽しみも悩みも共有できる友だちがいる。ひとりでいて楽しめる者も40.5%いた。その一方で、大学の中で誰とも話さずに帰ることが多い7.2%，人付き合いが苦手な孤独である5.9%と孤立傾向の者もいる。この結果も過去の調査と同様の傾向であった。



2.2 教員との関係

設問 36 教員についてお尋ねします。(複数回答可)

全体では41.3%の学生が大学の中で尊敬できる教員がいると回答し、困った時に相談できる教員がいる25.6%，自分のことを理解してくれている教員がいる13.1%となっており、教員と良好な関係をもつ者があった。その一方で、教員との関係で困っていることがある4.1%，教員とのコミュニケーションの取り方が分からないが34.8%を示していた。他の項目と比較して、学部間で回答にはばらつきがあり、学部によって教員との関係に特徴があることが示唆された。

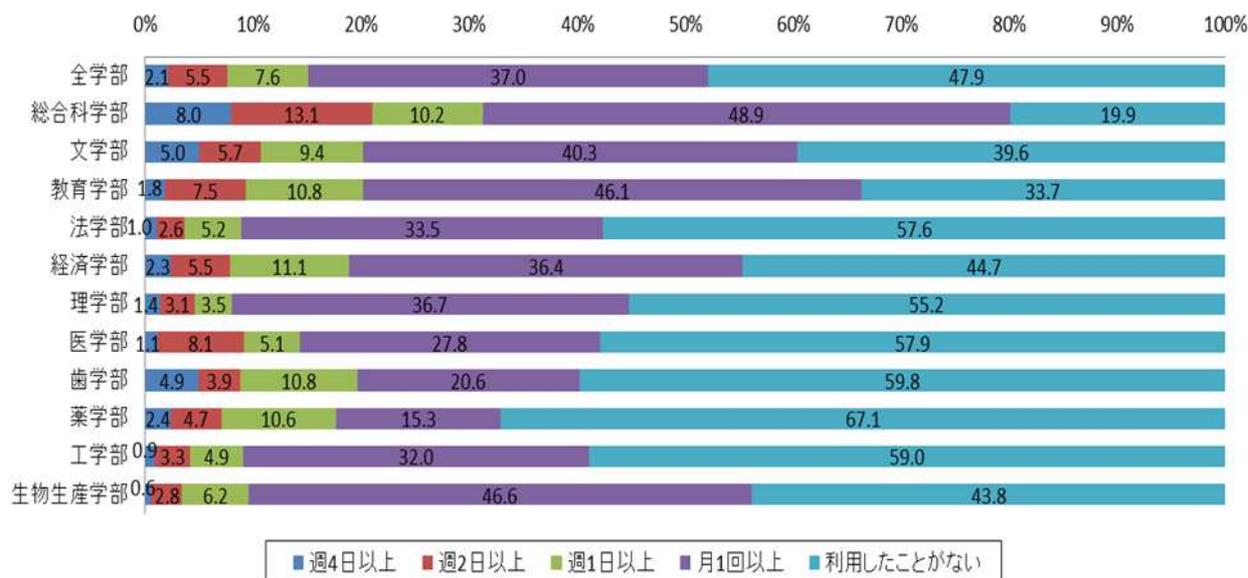


2.3 学生交流スペースの利用

設問 37 「学生プラザ1階のフリースペース」や西第1福利会館の集会室を利用したことがありますか。

全体の52.2%が利用したことがあり、前回調査より10%程利用者が増えている。

学部別では、「学生プラザ」「西第1福利会館」に近い総合科学部、文学部、教育学部は利用者が多く利用頻度も高いが、法学部、理学部、工学部は利用者が少ない。また、東広島キャンパスに1年次しかない医学部、歯学部、薬学部の利用者も少ない。



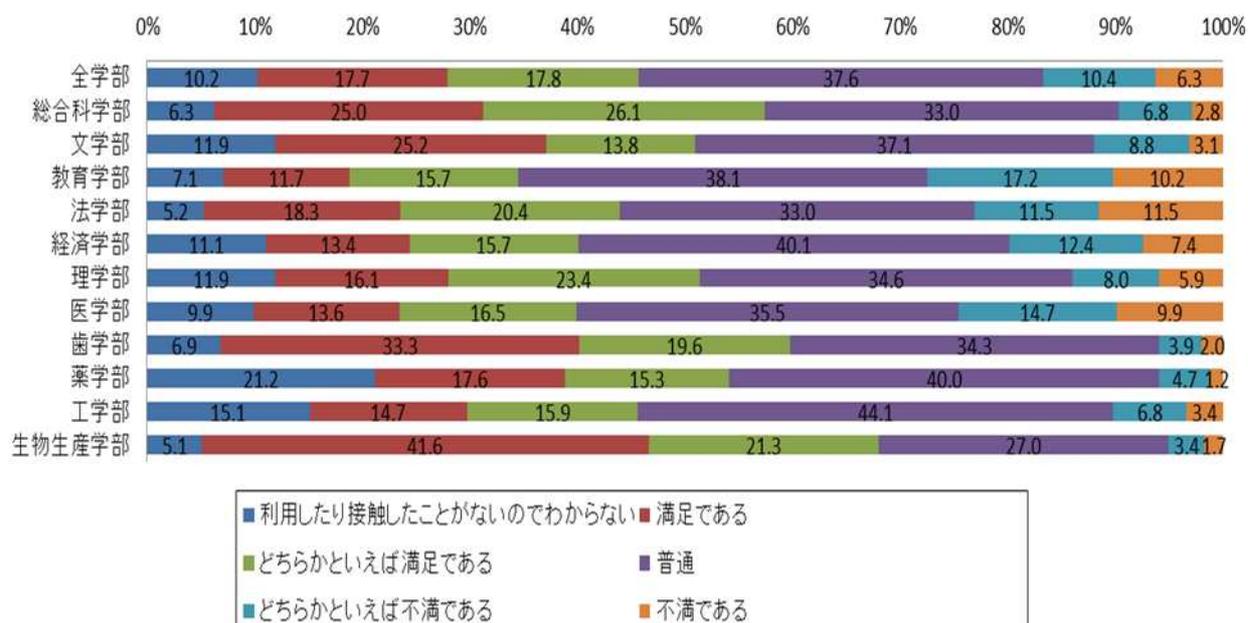
2.4 所属学部の学生支援室の対応

設問 38 所属学部・研究科の学生支援室の対応について、印象や満足度を教えてください。

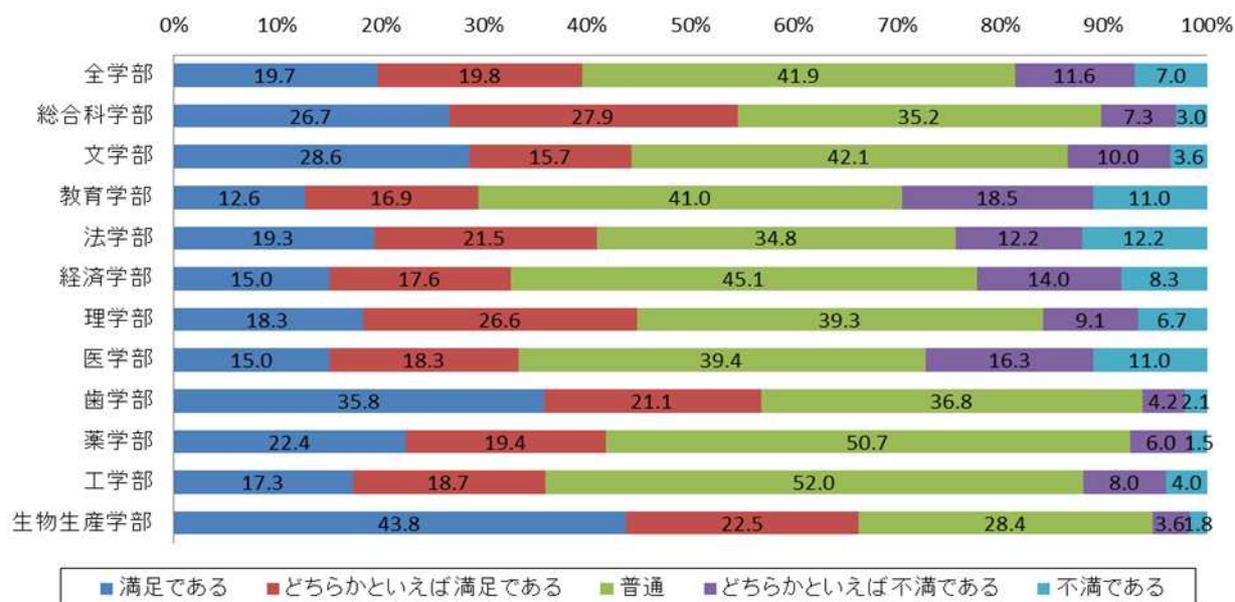
全体の89.8%（グラフ1）が学生支援室を利用したり接触しているが、そのうち「満足である」「どちらかといえば満足」と回答したのは39.5%（グラフ2）である。また、「満足である」「どちらかといえば満足」と回答した割合（グラフ2）が高いのは、総合科学部（54.6%）、歯学部（56.9%）、生物生産学部（66.3%）であり、歯学部、生物生産学部では「満足である」と回答した割合が高い。

なお、文学部は「満足である」「どちらかといえば満足」と回答した割合（グラフ2）が、前回調査より17%程増加している。

【グラフ1（利用したことがない者を含む）】



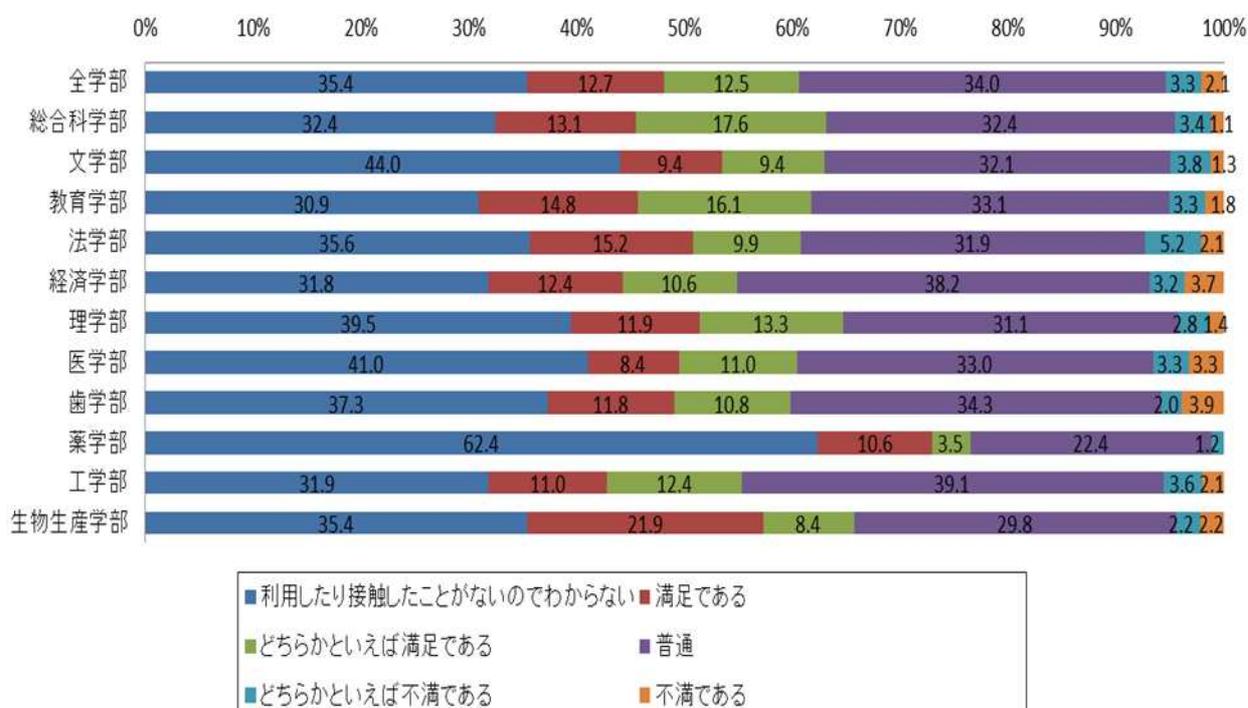
【グラフ2 (利用したことがある者のみ)】



2.5 学生プラザの学生支援部門の対応

設問 39 学生プラザの学生支援部門の対応について、印象や満足度を教えてください。

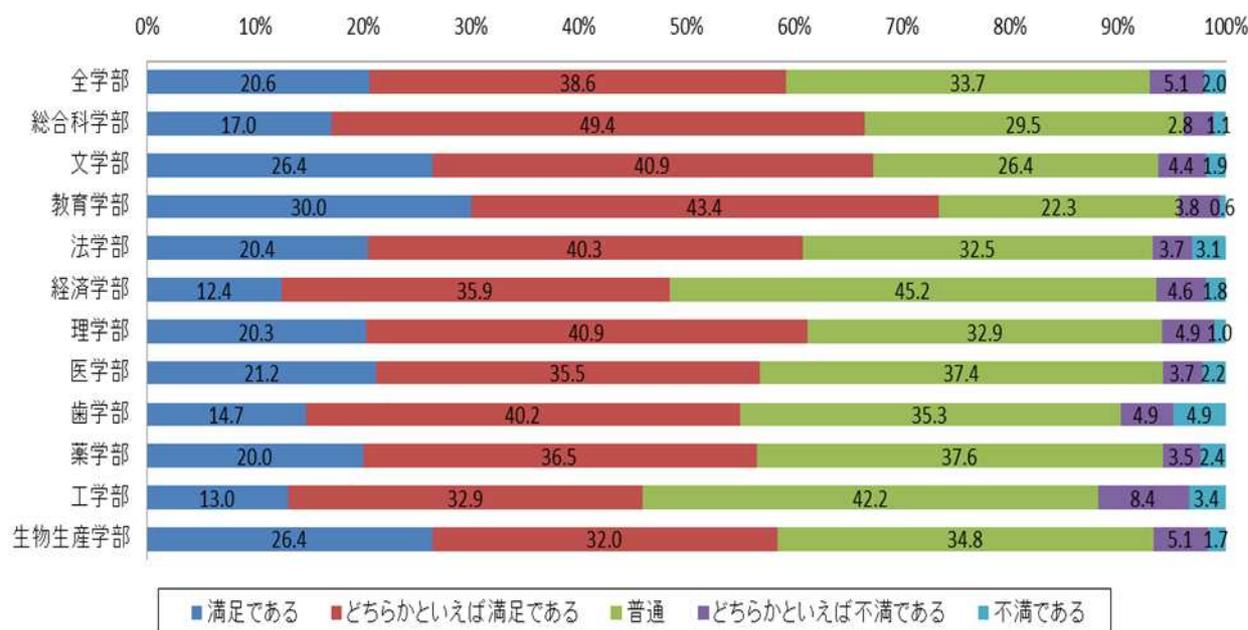
学生プラザの開所はH22年4月であるが、全体の64.6%（グラフ1）が学生プラザの学生支援部門を利用したり接触しており、前回調査より4%程上昇している。「満足である」「どちらかといえば満足」と回答した割合と「不満である」「どちらかといえば不満」と回答した割合は、前回調査と同様である。



26 本学の教育・学習，学生生活などの全体的な満足度

設問 40 本学での教育・学習，学生生活などに関して，全体として「良い」，「楽しい」と感じるなど，満足していますか。

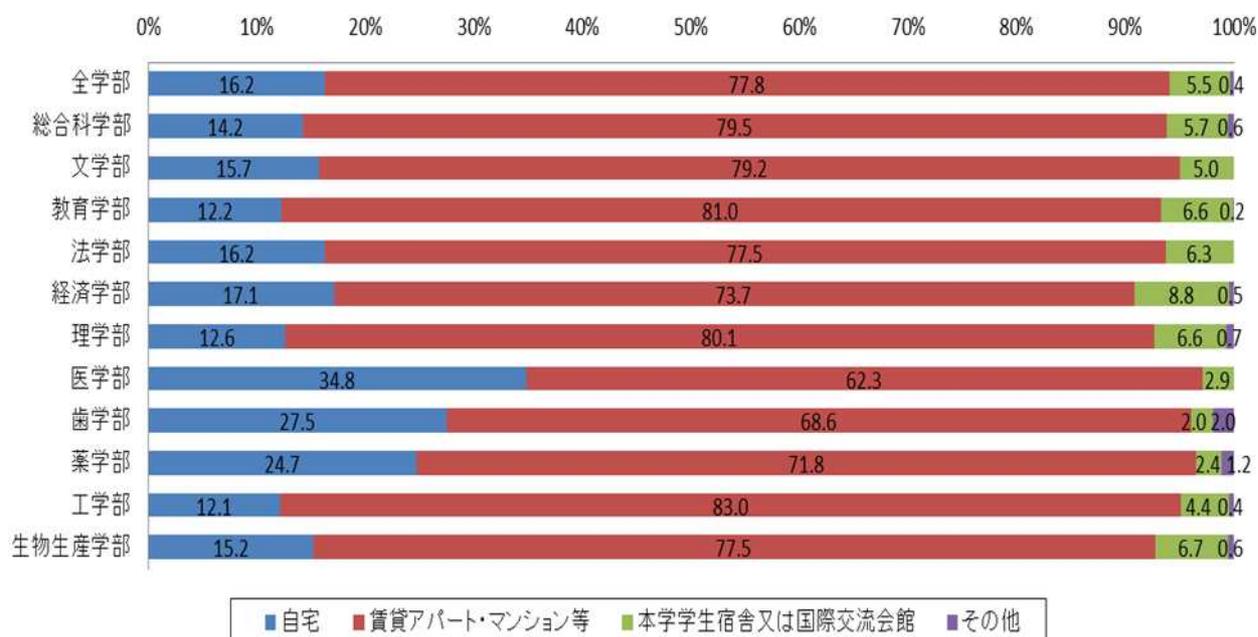
「満足である」「どちらかといえば満足」と回答しているのは全体では 59.2%だが，学部別でみると，教育学部は 73.4%と満足度が高い。一方，経済学部と工学部は他の学部 비해満足度が低く，これは前回調査でも同様の傾向である。



27 居住形態

設問 41 居住形態を教えてください。

全体的に「賃貸アパート・マンション等」の割合が 77.8%と高く，霞キャンパス（医学部，歯学部，薬学部）では「自宅」の割合が東広島キャンパスの学部より高くなっており，前回調査と同様の結果である。



28 通学方法

設問 42 通学方法を教えてください。(複数回答可)

通学方法の主たるものは「自転車」と「徒歩」であり、「原付・バイク」や「自動車」の割合は低い。また、公共交通機関が発達している広島市内にある霞キャンパス（医学部・歯学部・薬学部）では、「自転車」と「徒歩」だけでなく「バス」「JR」の割合も高いことが特徴的である。

